ユーザーズ・マニュアル

_CP-70 V



ディレクション

Frédéric Brun

開発			
Pierre-Lin Laneyrie	Cyril Lepinette	Pauline Alexandre	Mauro De Bari
Baptiste Aubry	Patrick Perea	Goncalo Bernardo	Geoffrey Gormond
Mathieu Nocenti	Stéphane Albanese	Samuel Limier	Marius Lasfargue
Raynald Dantigny	Pascal Douillard	Fanny Roche	Marc Antigny
Corentin Comte	Christophe Luong	Rasmus Kürstein	Loris De Marco
Marie Pauli	Pierre Mazurier	Kevin Arcas	
Alexandre Adam	Fabien Meyrat	Alessandro De Cecco	
Yann Burrer	Samuel Lemaire	Hugo Caracalla	
デザイン			
Edouard Madeuf	Maxence Berthiot	Morgan Perrier	
Callum Magill	Florian Rameau	Heloise Noir	
Pierre Pfister	Shaun Ellwood	Cédric Coudyser	
サウンド・デザイン			
Jean-Michel Blanchet	Quentin Feuillard	Jerry Kovarsky	
Maxime Audfray	Lily Jordy	Josh Fielstra	
Florian Marin	Jonathan Adams Leonard	Dennis Hamm	
品質保証			
Compain Marrie	Iulian Viennene	Environa Vala	Antherin Decisional
Germain Marzin	Julien viannenc	Enrique veta	Arthur Peytard
Arnaud Barbier	Roger Schumann	Benjamin Renard	
Matthieu Bossnardt	Adrien Soyer	Nicolas Stermann	
Aurelien Mortha	Dastiell nel vieux	NICOLAS NAUGITI	
ユーザー・マニュアル	/		
Stephen Fortner (writer)	Félicie Khenkeo	Charlotte Métais (フランス語)	Minoru Koike (日本語)
Jimmy Michon	Florence Bury (フランス語)	Holger Steinbrink (ドイツ語)	Ana Artalejo (スペイン語)
ベータ・テスティング	ř		
Marco Koshdukai Correia	Chuck Capsis	Apollo Negri	Gary Morgan
Chuck Zwicky	Jay Janssen	Kevin Dumas	Chuck Zwicky
Terry Marsden	Jeff Cecil	Davide Puxeddu	Mat Herbert
Fernando Manuel Rodrigues	Richard Courtel	T.J. Trifeletti	James Lovie
Gustavo Bravetti	Ken Flux Pierce	Andrew Macaulay	Terry Marsden
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	. ,

© ARTURIA SA – 2023 – All rights reserved. 26 avenue Jean Kuntzmann 38330 Montbonnot-Saint-Martin FRANCE www.arturia.com

本マニュアルの情報は予告なく変更される場合があり、それについてArturiaは何ら責任を負いません。 許諾契約もしくは秘密保持契約に記載の諸条項により、本マニュアルで説明されているソフトウェアを供 給します。ソフトウェア使用許諾契約には合法的使用の条件が規定されています。本製品を購入されたお 客様の個人的な使用以外の目的で本マニュアルの一部、または全部をArturia S.A.の明確な書面による許 可なく再配布することはできません。

本マニュアルに記載の製品名、ロゴ、企業名はそれぞれの所有者に帰属する商標または登録商標です。

Product version: 1.0.0

Revision date: 27 March 2025

CP-70 V をお買い上げいただき誠にありがとうございます!

本マニュアルでは、クラシックな CP-70 エレクトリックグランドピアノを現在入手できる中で最も忠実に 再現した Arturia **CP-70 V** の機能と操作方法についてご紹介します。

できるだけ早めに製品登録をお願いいたします! CP-70 V の購入時にシリアルナンバーとアンロックコードをEメールでご案内しております。製品登録時にはこれらが必要となります。

使用上のご注意

仕様変更について:

本マニュアルに記載の各種情報は、本マニュアル制作の時点では正確なものですが、改良等のために本ソ フトウェアの仕様を予告なく変更することがあります。

重要:

本ソフトウェアは、アンプやヘッドフォン、スピーカーで使用された際に、聴覚障害を起こすほどの大音 量に設定できる場合があります。そのような大音量や不快に感じられるほどの音量で本ソフトウェアを長 時間使用しないでください。

難聴などの聴力低下や耳鳴りなどが生じた場合は、直ちに医師の診断を受けてください。

てんかんに関するご注意:CP-70 V のご使用の前に必ずお読みください

日常生活の中で、特定の点滅や光のパターンにさらされると、てんかん発作や意識消失を起こしやすい人 がいます。これは、てんかんの病歴がない人や、てんかん発作を起こしたことがない人でも起こりえま す。ご自身やご家族の方で、点滅する光を浴びたときにてんかんの症状 (発作や意識消失)を起こしたこと がある方は、本ソフトウェアを使用する前に医師に相談してください。

本ソフトウェアの使用中に、以下のような症状が現れた場合は、*直ちに*使用を中止し、医師に相談して ください:めまい、目のかすみ、目や筋肉の痙攣、意識の喪失、方向感覚の喪失、不随意運動やけいれ ん

本ソフトウェアの使用でのてんかん等の予防方法 (これが完全とは限りま せん)

- 画面に近づきすぎない。
- 画面から適切な距離を取る。
- 疲れているときや、睡眠が不十分のときは本ソフトウェアの使用を控える。
- 十分に明るい空間で本ソフトウェアを使用する。
- 1時間使用したら10~15分間の休憩を入れる。

はじめに

Arturia CP-70 V をお買い上げいただき誠にありがとうございます!

Arturia の他の製品と同様、用途に応じて使い分けることができるデジタルとアナログの両方の長所が1つ のパッケージで得られます。ビンテージハードウェアと同様の演奏体験をお楽しみいただくこともできま すし、アドバンストパネルを開いてオリジナルのエレクトリックピアノの能力を遥かに超えるサウンドと パフォーマンスの可能性を探求することもできます。

古いものと新しいものの至福の融合に、そしてそれによって生まれる美しい音楽に乾杯!

平和と、愛と、音楽を、

The Arturia team

Arturia のハードウェアやソフトウェア製品情報のチェックに、www.arturia.com をご活用ください。ミュージシャンにとって不可欠で刺激的なツールが豊富に揃っています。

1. CP-70 V へようこそ!	3
1.1. エレクトリック・グランドピアノとは?	3
1.1.1. エレクトリック vs. エレクトロアコースティック	4
1.2. その他のエレクトロアコースティック・ピアノ	5
1.3. なぜ CP-70 V を?	8
1.3.1. CP-70 V 主な特長	8
1.4. CP エレクトリックグランドを使用した名曲	9
2. ACTIVATION AND FIRST START - 最初の設定	10
2.1. CP-70 V の製品登録、アクティベーション、インストール	10
2.2. 最初に行う設定 (スタンドアローン版)	11
2.2.1. オーディオと MIDI の設定:Windows	11
2.2.2. オーディオと MIDI の設定: macOS	13
2.2.3. プラグインとして使用する	14
2.3. CP-70 V を初めて演奏する	15
3. MAIN PANEL	16
3.1. 共通動作	16
3.1.1. Value pop-ups - 設定値のポップアップ表示	16
3.1.2. Parameter descriptions - パラメーター名の表示	16
3.1.3. 設定値の微調整	16
3.1.4. ダブルクリックでデフォルト値に	17
3.2. メインパネルの音色パラメーター	17
3.2.1. Volume	17
3.2.2. トーンコントロール	17
3.2.3. Tremolo	18
3.2.4. オンスクリーンキーボード	19
4. ADVANCED PANEL	20
4.1. Velocity Curve - ベロシティカーブ	20
4.1.1. ベロシティカーブのプリセット	21
4.1.2. オリジナルのベロシティカーブを作成する	21
4.2. Advanced Settings - アドバンスト設定	22
4.2.1. Instrument Settings	23
4.2.2. Envelope Settings	23
4.2.3. Output Settings	24
4.2.4. Noises Settings	25
5. EFFECTS	26
5.1. Effects routing	27
5.1.1. エフェクトを入れ替える	27
5.2. In、Out、Bypass	27
5.3. エフェクトの選択	28
5.4. エフェクトプリセット	29
5.5. Pedal Effect types - ペダルエフェクトタイプ	30
5.5.1. Dry/Wet mix	30
5.5.2. エフェクトのテンボ同期	30
5.5.3. Reverb	31
5.5.4. Delay	32
5.5.5. Analog Delay	33
5.5.6. Tape Echo	34
5.5.7. Distortion	35
5.5.8. Equalizer	37
5.5.9. Compressor	38 20
5.5.10. Limiter	39
5.5.12 Elanger	40
J.J.12. Fidilyet	41
J.J.IJ. FIIdSEI	42
5.5.15 Co.Wab	43 44
5.5. Crywall	44 AE
5.6.1 Datary Spaaker	45
5.6.2 Twin Amn	46
5.7 Room Simulator	Δ7
	1

5.7.1. ルームタイプ	48
5.7.2. ルームパラメーター	48
6. USER INTERFACE	49
6.1. Upper Toolbar - アッパーツールバー	50
6.1.1. Main Menu - メインメニュー	50
6.1.2. Save as Opening Preset	51
6.1.3. プリセットブラウザへのアクセスとネームペーン	54
6.1.4. Advanced Button	54
6.1.5. FX Button	54
6.1.6. メインアウトプット・ボリュームノブ	55
6.1.7. ギアのアイコン	55
6.2. Lower Toolbar - ロワーツールバー	55
6.2.1. パラメーター情報エリア	55
6.2.2. Undo, Redo, and History - アンドゥ、リドゥ、エディット履歴	56
6.2.3. CPU Meter - CPU メーター	57
6.2.4. Macro controls - マクロノブ	57
6.2.5. Resize handle - リサイズハンドル	57
6.2.6. Max View ボタン	58
6.3. The Side Panel - サイドパネル	58
6.3.1. Settings Tab	58
6.3.2. MIDI Tab	59
6.3.3. Macro Tab - マクロタブ	64
6.3.4. Tutorials	66
7. THE PRESET BROWSER	67
7.1. Search and Results - サーチ&リザルト	68
7.2. Using Tags as a Filter - タグで絞り込む	68
7.2.1. Types	68
7.2.2. Styles	69
7.2.3. Banks	69
7.3. サーチ結果表示エリア	70
7.3.1. リストの並べ替え	70
7.3.2. タグを外す	71
7.3.3. Liking Presets - プリセットに「いいね」をつける	71
7.4. Sidebar - サイドバー	72
7.4.1. Sound Banks	72
7.4.2. My Favorites	73
7.4.3. My Playlists	73
7.5. Preset Info Section - プリセット情報	74
7.5.1. 複数プリセットの情報を編集する	
7.6. プリセットの選択:別の方法	
7.7. Macro Knobs - マクロノブ	
7.8. Playlists - プレイリスト	79
7.8.1. プレイリストを初めて作成する	79
7.8.2. プリセットを追加する	80
7.8.3. プリセットを並び替える	80
7.8.4. プリセットをプレイリストから削除する	81
7.8.5. ソングとプレイリストの管理	81
8. ソフトウェア・ライセンス契約	83

1.CP-70Vへようこそ!



Arturia CP-70 V をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。CP-70 V は、1970年代半ばから 1980年代にかけて、ツアーバンドのキーボード機材の定番だったヤマハ CP-70 エレクトリックグランド ピアノを忠実かつ綿密なサンプリングで再現したバーチャル・インストゥルメントです。この CP-70 V が、あなたの音楽制作ツールキットの貴重な追加になることを確信しております。

Arturia 製品を購入されたことがある方であれば、私たちがオリジナル楽器のサウンドとフィーリングを 再現することに誇りを持っていることをご存知かと思います。そして、オリジナル楽器が夢見た21世紀の 機能によって、現代の音楽制作環境でビンテージサウンドに新たな命を吹き込むことができます。

1.1. エレクトリック・グランドピアノとは?



ヤマハ CP-70 エレクトリックグランドピアノ

エレクトリックグランドは、エレクトロアコースティックピアノの一種です。つまり、通常のアコースティックピアノのように、物理的な弦をハンマーで叩いた音を音源にしているピアノを指します。弦とハンマーで発生した音を、木製の響板で増幅する代わりに、エレクトロアコースティック・ピアノでは電磁ピックアップで音を電気信号に変換し、その信号を電気的に増幅させています。簡単に言えば、エレキギターのピアノ版ということになります。

楽器メイカー各社がエレクトロアコースティック・ピアノを製造したのは、ステージで本物のピアノサウ ンドを演奏したいというツアーミュージシャンのニーズに応えるためであり、よりポータブルなパッケー ジとして考案されました。「ポータブル」というのは、本物と比較すればという意味合いで、CP-70 の重 量は約300ポンド(約136kg)でした。これは、最も小型で軽量なアコースティック・アップライトピアノ とほぼ同じ重量です。ピアノとして軽量だっただけでなく、CP-70(および88鍵バージョンの CP-80)は、 本体上部の弦を収納したハープ部分と、鍵盤アクションを収めている本体下部の2つに分離して運搬でき ました。運搬以外のメリットとしては、エレキギターのように、アンプや PA システムに直接接続できる ことでした。これとは対照的に、ロックバンドでアコースティックピアノを使用するにはマイクで音を拾 う必要があり、近くにあるドラムやギターなどの大音量の楽器の音もマイクが拾ってしまう可能性があり ました。

当時、打弦式の CP シリーズは、アコースティックピアノをライブごとに運搬し、調律してマイクをセットするという手間をかけない限り、ライブバンドで「本物の」ピアノサウンドに限りなく近づけることができたと言えるでしょう。低音域は、アコースティックピアノよりも倍音が豊かではなく、ほとんどペースギターのようなトーンで、逆にそれが CP サウンドの特徴のひとつとなっています。全体的な音色で言えば、このピアノは、1970年代後半から80年代にかけてのロック、ポップス、プログレ、ニューウェーブによく合う、やや「メタリック」なキャラクターがありました。

1.1.1. エレクトリック vs. エレクトロアコースティック

技術的には、*エレクトリック*ピアノが振動する音源を電気的に増幅する楽器だと単純に定義すれば、エレクトロアコースティック・ピアノはその下位分類に相当します。しかし、キーボードプレイヤーが言う「エレクトリックピアノ」は、音源に弦以外のもの、つまり、タインやリードを使用した楽器を指すのが一般的です。「エレクトリック・グランド」や「エレクトリック・アップライト」は、CP-70 などのように弦を音源としたエレクトロアコースティック・ピアノを指す、より広い意味での用語です。「グランド」というのは弦が水平に張ってあるもの、「アップライト」というのは垂直に張られているという意味です。

その特徴的な台形のボディ形状もあって、ヤマハ・エレクトリックグランドは、確かに最も人気があり、 広く知られたエレクトロアコースティック・ピアノの代表格です。ですが、CP シリーズが世界初のもの でも、唯一のエレクトロアコースティック・ピアノでもないのです。

市販された最初のエレクトロアコースティック・ピアノは、1929年に発売されたネオ・ベヒシュタイン (Neo Bechstein) でした。その主なセールスポイントは、家庭や学校向けのコスト削減でした。



最初のエレクトロアコースティック・ピアノ、1929年製ネオ・ベヒシュタイン (写真: Karl Kunde、ウィーン産業技術博物館)

ストーリートーン (Storytone) は、ピアノ製造業者のストーリー&クラーク社 (Story & Clark) とラジオ製 造業者の RCA とのコラボレーションによって誕生しました。1939年のニューヨーク万博でデビューし、 RCA のジョン・ヴァッソス (John Vassos) によるアールデコ調のデザインが注目を集めました。状態の良 いストーリートーン・ピアノは、現在でもコレクター市場に出回っており、2万ドル以上の値がつくこと もあります。



ストーリートーン・エレクトロアコースティック・ピアノ (画像:Wikimedia Commons)

CP シリーズの直接の競合製品は、CP-70 などと同じく弦を水平に張ったグランドスタイルのカワイ EP-308 でした。カワイはエレクトロアップライトの EP-608 も製造し、こちらはヤマハ CP-60 と競合関 係にありました。



カワイ EP-308 エレクトリックグランド

エレクトロアコースティック・ピアノの概要をごく簡単に解説しようとしても、ヘルピンスティル・ロー ドマスター (Helpinstill Roadmaaster)を抜きにしては語れないでしょう。このエレクトリック・アップ ライトは88鍵と64鍵モデルがあり、ピアノ本体がそのまま専用のロードケースになっていたことが大き な特徴でした。使用後は鍵盤部を折りたたんで安全に運搬でき、ケースを別途用意する必要がありません でした。ヘルピンスティル社は、アコースティックピアノの増幅するためのピックアップ・システムを製 造する会社として、現在も営業を続けています。



88鍵ヘルピンスティル・ロードマスター (画像提供:Chicago Electric Piano Co.)

1.3. なぜ CP-70 V を?



言うまでもなく、本物の CP シリーズは非常に重く、コレクターズアイテムとしての決意と投資が必要で す。また、すでにエレクトリックグランドのサンプルライブラリーがいくつか存在していますが、私たち は CP-70 を完全に体験できる統合され、洗練されたバーチャル・インストゥルメントを作りたいと考え ました。CP-70 V が、最高のエレクトリックグランド・ピアノのエミュレーションであると確信していま す。

まずは極上コンディションの CP-70 を詳細にサンプリングすることから始めました。タッチの強弱を8段 階に分けて収録し、それに伴うリリースの変化も収録しました。また、ダイレクトなライン出力のほか に、ハイエンドのリボンマイクでのステレオ録音も行い、CP-70 V の最終段で両者の音を自由にブレンド することができます。

続いて CP-70 の内蔵プリアンプ、EQ、トレモロの各回路を忠実にモデリングしました。これにより、CP のエレクトロニクス部の動作を回路レベルで完璧に再現しました。

仕上げに、13種類のエフェクトタイプから選択できるスロットを4つ備えたエフェクトエンジンを加えま した。その後段には、ロータリーと Twin キャビネットをモデリングしたアンプシミュレーターと、現実 の空間をバーチャル的に再現できる洗練されたコンボリューションリバーブを搭載しました。

1.3.1. CP-70 V 主な特長

- サンプリングによる8段階のベロシティレイヤー。
- キー・リリース音を調整可能。
- オリジナル CP のトレモロを忠実に再現 (テンポ同期可能)。
- ベース、ミドル、トレブルの EQ 回路を忠実にモデリング。
- ダイレクトのライン出力とステレオマイク収録によるサンプルをミックス可能。
- エンベロープのアタックとリリースを調整でき、クリエイティブなサウンドデザインにも対応可能。
- 13種類の「ストンプボックス」タイプのエフェクトから4つを同時使用可能。
- ロータリースピーカーと Twin ギターアンプをモデリングしたアンプシミュレーターを搭載 し、各アンプに関連するパラメーターも調整可能。
- 9種類の音響空間を再現できる高品位コンボリューションリバーブによるルームシミュレーターを搭載。
- MIDI ラーン機能により、各パラメーターを MIDI コントローラーのノブやスライダー等にマッピング可能。
- 1つのノブの操作で複数のパラメーターを一斉にコントロール可能なマクロノブを4つ装備。
- ベロシティカーブを編集でき、プリセットとして保存可能。
- スタンドアローン動作のほか、主要 DAW のすべてのプラグイン形式に対応。
- トップ・サウンドデザイナーによるファクトリープリセットを内蔵。

1.4. CP エレクトリックグランドを使用した名曲

CP-70 または CP-80 エレクトリックグランドを使用した有名な楽曲を簡単にご紹介します。スペースの都合上、ここに挙げましたものがすべてでもなければ、完璧なものでもありません。

アーティスト	楽曲
バグルズ	ラジオ・スターの悲劇
エルヴィス・コステロ	Every Day I Write the Book
ピーター・ガブリエル	In Your Eyes
ジェネシス	Turn It On Again
ホール&オーツ	Kiss On My List
ジョー・ジャクソン	Steppin' Out
エルトン・ジョン	トゥー・ルームス
キーン	Somewhere Only We Know
シンプル・マインズ	All the Things She Said
スパイロ・ジャイラ	Schu's Blues (ライブ)
クラウス・シュルツェ	Angst
タンジェリン・ドリーム	Quichotte Part 1
тото	Hold the Line
U2	Sweetest Thing
フランク・ザッパ	City of Tiny Lights (ライブ)

上記のアーティストのその他の楽曲もぜひチェックしてみてください。CP は、例えばピーター・ガブリ エルの作品の多くで特によく登場しています。

2. ACTIVATION AND FIRST START - 最初の設定

2.1. CP-70 V の製品登録、アクティベーション、インストール

CP-70 V は、Windows 10 またはそれ以降、macOS 11 またはそれ以降の OS を搭載したコンピュータで動 作します。スタンドアローンのインストゥルメント、または DAW (デジタル・オーディオ・ワークステー ション) のプラグインとして使用でき、Audio Units、AAX、VST2 または VST3 の各プラグイン形式に対応 しています。



CP-70 V のインストールや製品登録をする前に、以下の URL から My Arturia アカウントを作成する必要が あります (未作成の場合)。アカウント作成には、Eメールアドレスの入力とパスワードの設定が必要にな ります: https://www.arturia.com/createanaccount/

手動でオンラインにて製品登録やアクティベーションなどの作業を行うこともできますが、Arturia Software Center というアプリケーションをダウンロードして使用することで、その作業がはるかに簡単 になります。このアプリケーションは、こちらから入手できます:https://www.arturia.com/support/ downloads&manuals

Arturia Software Center を使用するには、My Arturia アカウントの作成で設定したEメールアドレスとパ スワードを入力します。このアプリケーションは、お持ちの Arturia ソフトウェアすべての製品登録やア クティベーションなどがワンストップで行えます。また、お持ちの Arturia ソフトウェア製品を常に最新 バージョンにアップデートしたり、Arturia ソフトウェア製品のインストールも簡単に行えます。



Arturia Software Center

Register a new product ボタンをクリックし、Activate のボックス、次に Install をクリックすること で、お持ちの製品の登録、アクティベーション、インストールを Arturia Software Center 内で行えます。 製品登録では、ソフトウェア製品の購入時に発行しましたシリアルナンバーとアンロックコードの入力を 求められます。

製品登録は、次のリンクにアクセスし、お持ちの My Arturia アカウントでログインすることでも行えま す:http://www.arturia.com/register CP-70 V の製品登録、アクティベーション、インストールが完了しましたら、次はお使いのコンピュータ で CP-70 V の設定を行います。

2.2. 最初に行う設定 (スタンドアローン版)

CP-70 V をスタンドアローンモードで使用したいときは、MIDI の入出力とオーディオの出力を正しく設定 する必要があります。この設定は、一般的には最初に一度行えば、MIDI コントローラーやオーディオ/ MIDI インターフェイスを入れ替えない限り変更する必要はありません。また、設定自体は Windows でも macOS でもほぼ同じです。

このセクションは CP-70 V をスタンドアローンモードで使用する予定がある場合にのみ必要となる操作等をご紹介 します。CP-70 V を DAW やその他の音楽制作ソフトウェアのプラグインとしてのみ使用する場合は、その設定はお使 いのホストアプリケーション (DAW など) で行いますので、混同を避けるためにこのセクションを読み飛ばしてしまっ ても差し支えありません。

2.2.1. オーディオと MIDI の設定: Windows

CP-70 V の画面左上のハンバーガー (横3本線) アイコンはプルダウンメニューになっています。ここには さまざまな設定オプションが入っています。

=	CP-70 V	
	New Preset	
	Save Preset As	
	Import	
	Export	>
	Resize Window	>
	Theme	>
	Audio Midi Settings	
	Tutorials	
	Help	>
	About	

CP-70 V メインメニュー

Audio Midi Settings をクリックすると下図のような画面が開きます。この画面は、Windows 版も macOS 版もほぼ同じ構成ですが、使用できるデバイス名は、お使いのハードウェアによって変わりま す。繰り返しになりますが、この画面は、CP-70 V をスタンドアローンモードで使用する場合にのみ使用 できる (そして設定が必要となる) 画面です。

Audio MIDI Settings	
Addo Mibi Octango	×
🗟 Audio Settings 🛛 🔛 MIDI Settings	
Adjust the audio settings to your setup. Select the MIDI ports to use your controllers.	
Audio Driver - Windows Audio MIDI ports AF16Rig DIN 1 In	
Audio Device - 1-2 [Snk/Phones I-R] (AF16Rin AF16Rin AF16Rig Usb Host In	
MOTU M Series MIDI In	
Buffer size - 512 samples (11.6 ms)	
Sample rate - 44100 Hz Tempo 120.0 BPM - +	
Test Audio 🕩 Play	
ок	

上から順に、次のようなオプションがあります:

- Driver: CP-70 V のオーディオを扱うドライバーを選択します。お使いのコンピュータに内蔵のドライバーや汎用の ASIO ドライバーのほか、外付けのサウンドカードやインターフェイスのドライバーが使用できます。ドライバーの選択によっては、ハードウェアのインターフェイス名がその下のフィールドに表示されることがあります。
- Device: CP-70 Vのオーディオを出力するハードウェアを選択します。
- Output Channels:オーディオ出力に使用するアウトプットを選択します。お使いのインターフェイスなどが2アウトの場合、この選択ボックスは非表示になります。2つ以上のアウトプットがあるインターフェイスをお使いの場合は、オーディオ出力にしたいアウトプットのペアを選択できます。
- Buffer Size:コンピュータがオーディオ信号の演算時に使用するバッファサイズを選択できます。設定値の右側には、レイテンシー (信号の遅れ) がミリセカンド (1秒の1/1000) 単位で表示されます。

バッファサイズを小さく設定すると、レイテンシーも短くなり、MIDIコントローラーのキーボードを弾いてから音 が実際に出るまでの時間が短くなりますが、CPU への負荷が大きくなり、音にボッブ音やクリック音などの雑音が入 る原因になることがあります。そのような場合にはバッファサイズを大きくしますが、今度はレイテンシーが大きくな り、場合によってはリアルタイム演奏に支障が生じることがあります。最近の処理速度が速いコンピュータでしたら、 バッファサイズを 256 や 128 に設定してもクリック音などの雑音が発生せずに動作します。このどちらかの設定値にセ ットしてクリック音などの雑音が生じたときは、雑音が生じなくなるまでバッファサイズを大きくしてください。

Sample Rate: CP-70 V からオーディオ信号を出力するときのサンプルレートを設定します。

ここで設定できるサンプルレートは、お使いのオーディオデバイス (インターフェイスなど) によって選択肢が変わ ります。ほぼすべてのデバイスで 44.1kHz や 48kHz のサンプルレートに対応しており、通常の使用ではそのどちらか の設定で問題ありません。特段の理由があってそれ以上のハイレートでご使用になりたい場合、CP-70 V は 96kHz まで 対応しています。

• Show Control Panel:このボタンをクリックすると、選択しているオーディオデバイスの システムコントロールパネルを表示します。

- Test Tone: Play ボタンをクリックすると、短いテストトーンを出力し、オーディオに何らかの問題が生じ、それを解決するときに便利です。このテストトーンが予想通りに聴こえる (モニターしたいスピーカーやヘッドフォンなどから聴こえる)場合は、CP-70 Vのオーディオのルーティングが正しく設定されているということになります。
- お使いのコンピュータに MIDI デバイスが接続しているときは、そのデバイス名が MIDI Devices エリアに表示されます。CP-70 Vをコントロールしたいデバイスのチェックボック スをクリックして選択できます。複数のチェックボックスをクリックして、複数の MIDI デ バイスで CP-70 Vをコントロールすることもできます。

■ スタンドアローンモードでは、CP-70 V はすべての MIDI チャンネルを受信しますので、特定の MIDI チャンネルに 設定する必要はありません。

 Tempo: CP-70 V内のLFOやエフェクトでテンボ同期機能を使用する際のマスターテンポを 設定します。CP-70 Vをプラグインとして使用する場合は、DAW などのホストアプリケーションで設定したテンポに同期します。

2.2.2. オーディオと MIDI の設定: macOS

imes Audio MIDI Se	ettings		
S Audio Settir Adjust the audio se	igs ittings to your setup.	Select the MIDI po	gs rts to use your controllers.
Audio Driver	🗕 CoreAudio	MIDI ports	Minilab3 MIDI
Audio Device	🗕 Universal Audio Thunderbolt		Minilab3 DIN THRU Minilab3 MCU
Output channels	MON L + R LINE 1 + 2 LINE 3 + 4	Тетро	120.0 BPM - +
Buffer size	→ 128 samples (2.9 ms)		
Sample rate	✓ 44100 Hz		
Test Audio ◀》	Play		ОК

macOS 版の Audio MIDI Settings 画面

macOS 版のオーディオと MIDI の設定画面へのアクセス方法は、Windows 版のそれと同じです。また、 設定方法もほぼ同じです。各オプションの動作も Windows 版と同じです。唯一の違いは、すべての macOS デバイスでは外部オーディオインターフェイスも含み、オーディオルーティング等の処理に CoreAudio ドライバーを使用します。**Device** の下にある2つ目のドロップダウンメニューでは、使用した いオーディオデバイスを選択します。

2.2.3. プラグインとして使用する



CP-70Vのプラグインモードでの画面はスタンドアローンモードと同様です

Cp-70 V は、Ableton Live、Cubase、Logic、Pro Tools、Studio One などすべての主要 DAW 上で動作す る VST2、VST3、Audio Unit (AU)、AAX の各プラグイン形式に対応しています。

CP-70 V をプラグインとして使用する場合、オーディオと MIDI デバイスのすべての設定はホストアプリケ ーション (DAW) で設定します。プラグインのロード方法や設定方法等につきましては、お使いの DAW な どのマニュアル等をご覧ください。

DAW 内で CP-70 V をプラグインとしてロードした場合、CP-70 V のユーザーインターフェイスや各種設定 はスタンドアローンモード時と同様に動作しますが、次のような相違点もあります:

- DAW のテンポ (BPM) に CP-70 V を同期させることができます。
- DAW のオートメーション機能を使用して CP-70 V のパラメーターをコントロールすることができます。
- 1つの DAW プロジェクト内で複数の CP-70 V を使用することができます。
- CP-70 V のオーディオ出力をディレイやコーラス、フィルターなど DAW 内のエフェクトで加 工することができます。
- CP-70 V のオーディオ出力を DAW 内に取り込み、DAW のオーディオルーティング機能を使用してクリエイティブな音作りを行えます。

2.3. CP-70 V を初めて演奏する

CP-70 Vの各種設定が済みましたら、CP-70 Vを開いてテストを兼ねて音を出してみましょう。

CP-70 V を開いていない場合は、プラグインモードまたはスタンドアローンモードで開きましょう。MIDI コントローラーが使用できる状態でしたら、CP-70 V の音を出してみましょう。MIDI キーボードがない場 合は、画面上のキーボードをマウスでクリックしたり、コンピュータのキーボードで演奏することもでき ます。

CP-70 V の画面最上部にある上下の矢印 (▲/▼) をクリックすると、CP-70 V の全プリセットを1つずつ順 番に切り替えることができます。プリセットをいくつか弾いてみて、気に入ったものがありましたら、画 面上のノブやスイッチなどを操作して音色がどのように変化するのかを試してみてください。

音色をさまざまに変化させて、変な音になってしまっても心配ご無用です。保存の操作をしなければ何も 保存されませんので (プリセットの保存方法は本マニュアルで後述します)、CP-70 V のファクトリープリ セットが変更されてしまうリスクはありません。

このチャプターをお読みになって、CP-70 V をスムーズに使い始めることができたかと思います。ここまでで CP-70 V の音が出せるようになりました。ここから先は、CP-70 V の各種機能をセクションごとにご紹介します。本マニュアルを最後までお読みになるまでには CP-70 V のポテンシャルを理解され、この素晴らしいインストゥルメントと同じくらいに素晴らしい音楽を作り出されることと思います!

3. MAIN PANEL



メインパネルでは、CP-70 V の主な機能をコントロールできます。オリジナルのハードウェア自体もノブ 類がいくつかあるだけですので、比較的シンプルなものです。事実、アドバンストパネルやエフェクト パネルを除けば、メインパネルにあるコントロール類は Volume と EQ、Tremolo ノブだけです。

3.1. 共通動作

Arturia のバーチャルインストゥルメントは、アドバンストパネルやエフェクトパネルも含み、音色エディットなどの操作時の反応を全タイトルで共通化し、簡単でわかりやすい操作体系を実現しています。このことは、CP-70 V も例外ではありません。

3.1.1. Value pop-ups - 設定値のポップアップ表示



あらゆるコントロール (ノブやスライダーなど) の上にマウスオーバーすると、そのパラメーターの現在の 設定値を示すポップアップ (ツールチップ) が表示されます。

3.1.2. Parameter descriptions - パラメーター名の表示

Tremolo Speed (Hz): Sets the speed of the tremolo (Hz)

パラメーターを操作したり、そのコントロール (ノブなど) にマウスオーバーすると、そのパラメーター名 と簡単な説明がロワーツールバー [p.55]の左側に表示されます。

3.1.3. 設定値の微調整

マウスの右ボタン、またはコンピュータのキーボードの Ctrl キーを押しながらノブをドラッグすると、 設定値がゆっくり変化します。これにより、設定したい値へ正確に合わせやすくなります。

3.1.4. ダブルクリックでデフォルト値に

ノブをダブルクリックすると、そのパラメーターのデフォルト値に戻ります。

3.2. メインパネルの音色パラメーター

オリジナルハードウェアのパネルを再現したのが、CP-70Vのメインパネルです。

3.2.1. Volume



このノブは、エフェクト [p.26]の前段での出力レベルを調整します。チャプター1「CP-70 V へようこ そ!」で触れましたが、CP-70 V にはオリジナルハードウェアをダイレクトに録音したサンプルと、ステ レオマイクで収録したサンプルの両方を内蔵しています。この2つのサンプルセットの音量バランスは、 この次のチャプターでご紹介しますアドバンストパネルのアウトプットセクション [p.24]で調整できま す。

3.2.2. トーンコントロール



オリジナルの CP-70 にはシンプルな3バンド EQ がありました。CP-70 V の **Bass、Middle、Treble** の各 ノブは、オリジナル CP-70 の周波数特性やクロスオーバー特性などを忠実に再現しています。この3つの ノブはブーストだけでなくカットもしますので、ブースト/カットをしないニュートラルな状態にするに は、設定値を 5 (時計の12時の位置) にセットします。

トーンコントロールは、ダイレクト出力のサンプルにのみ効果がかかります。ステレオマイクのサンプル にはトーンコントロールは効きません。

3.2.3. Tremolo



オリジナルの CP-70 は、トレモロも内蔵していました。ダイレクト出力のサンプルをステレオで使用す る際にトレモロが使用でき、左右チャンネルの音量が交互に上下し、音像が揺れ動く効果が得られます。 また、チャプター5でご紹介しますペダルエフェクトの中にも非常に効果的なステレオパン [p.43]があり ます。

トレモロのパラメーターはシンプルです。On/Off スイッチでトレモロのオン/オフを切り替え、Depth ノ ブでトレモロの深さを調整し、Speed ノブでトレモロの周期を 0.945Hz - 11.1Hz の範囲で調整できま す。トーンコントロールと同様、トレモロも CP-70 V のダイレクト出力のサンプルにのみ効果がかかりま す。

3.2.3.1. トレモロのテンポ同期



テンポ同期時の Speed のツー ルチップ

トレモロはテンポ同期に対応しており、アドバンストパネルのアウトプットセクション [p.24]で設定でき ます。テンポ同期がオンの場合、Speed ノブのツールチップに表示される設定値は、マスターテンポ (ス タンドアローンモード時) または DAW のテンポ (プラグインモード時) に対する拍数または小節数で表示 されます (上図参照)。

- 「t」は3連符を表します。
- 「d」は付点音符を表します。
- 上記の符号がない場合はストレートな音符を表します。

♪ トレモロのことをビブラートと表記するエレクトリックピアノもありますが、ビブラートというのは通常、ビッ チ に対する周期的なモジュレーション (変調) を指すのに対し、トレモロは 音量 に対する変調を指すという違いがあり ます。 3.2.4. オンスクリーンキーボード



オリジナルと同様、CP-70 V のオンスクリーンキーボードも *E* から始まり、*E* で終わる6オクターブです。 サンプルのピッチを変えると不自然な音色になってしまうことが望ましくありませんので、例えば88鍵の MIDI キーボードで最低音の *E* より低い音、最高音の *E* より高い音を弾いた場合、音は出ません。

オンスクリーンキーボードのキーの手前方向をクリックすと MIDI ベロシティの値が高くなります。

3.2.4.1. コンピュータのキーボードで演奏する



音程とコンピュータのキーボードとの対応関係

ー般的な QWERTY キーボードで、C スケールの1オクターブと2度 (全部で9度) の音域を演奏できます。コンピュータのキーボードの各文字と音程との関係は、上図の通りです。Z で1オクターブ下がり、X で1オ クターブ上がります。

4. ADVANCED PANEL



アドバンストパネルでは、CP-70 V の音色や演奏に対する反応を微調整できます。アッパーツールバーの 右側にある Advanced ボタン [p.54]をクリックすると、CP-70 V の画面が下方向へ拡張し、アドバンスト パネルが開きます。

4.1. Velocity Curve - ベロシティカーブ



エクスポネンシャルのベロシティーカーブのファクトリープリセット

CP-70 V は、ベロシティに対する反応の仕方をカーブで調整でき、カーブにはファクトリープリセットの ほか、オリジナルのカーブの作成・保存・呼び出しができます。これにより、演奏スタイルやお使いの MIDI コントローラーキーボードの特性に合わせて、CP-70 Vの反応の仕方をカスタマイズできます。

演奏した MIDI ベロシティの値はグラフの横軸 (X) に、実際に聴こえる音 (の音量や音の明るさ) が縦軸 (Y) にそれぞれ表示されます。

4.1.1. ベロシティカーブのプリセット

Velocity Curve Presets	
Exponential	
Fixed	
Linear	
Logarithmic	
Save As	

CP-70 V には4種類のベロシティカーブがファクトリープリセットとして内蔵されています。グラフの上に ある Presets をクリックするとプルダウンメニューが開き、次のようなカーブから選択できます:

- Exponential:中程度のベロシティ値までは音量はあまり大きくならず、大きな音を出すに は高いベロシティ値、つまり強いタッチが必要となる、キーボードの反応が重めになるカー ブです。
- Linear:ベロシティ値に応じて音量などが直線的に変化する一般的なカーブです。
- Logarithmic:中程度のベロシティ値ですでに音量などが大きくなり、キーボードの反応が 軽めに感じられるカーブです。
- Fixed: 演奏するタッチの強弱に関係なく、一定の音量で発音します。

このメニューには、Save と Save As というオプションもあります。オリジナルのカーブをユーザープリ セットとして Save As で保存すると、そのカーブ名がファクトリープリセットと同様にリスト表示されま す。カーブの作成方法は、次のセクションをご覧ください。

4.1.2. オリジナルのベロシティカーブを作成する

演奏スタイルや好みに合わせたベロシティカーブを作成し、それをベロシティカーブのプリセットとして 保存できます。保存したベロシティカーブのプリセットは、どの音色プリセットのエディット時にも表示 され、それを呼び出して使用することができます。



ブレイクポイント (赤丸) とグラブハンドル (黄 丸)

オリジナルのベロシティカーブは2つのシンプルなツールで作成できます。1つは *ブレイクポイント*、もう 1つは *グラブハンドル* です。ブレイクポイントは、カーブの方向や形が変化する点のことです。 グラフを左クリックするとブレイクポイントが追加されます。ブレイクポイントを右クリックすると、そのポイントが削除されます。ベロシティカーブでは、最初と最後のポイントを含めて最大で16個のポイントを使用できます。なお、最初と最後のポイントは削除できません。

ブレイクポイント同士の間には グラブハンドル があり、これをドラッグすると2点間のカーブ形状を調整 できます。グラブハンドルを何も操作しないと、2点の間は直線になります。グラブハンドルをグラフか ら遠くヘドラッグすると急峻なカーブになります。

ブレイクポイントの位置を調整したり、グラブハンドルを使用することであらゆるカーブを作成でき、演奏するタッチの強弱に応じた CP-70 V の反応を緻密に設定することができます。

カーブが完成しましたら、Save As でプリセットとして保存できます。Save は、ユーザープリセットでの み使用でき、作成したカーブを再調整して上書き保存するときに使用します。

	AD\	VANCED	SETTINGS	
Tuning	440.0 Hz		Volume	99.6 %
Detune	0.0 %		Tremolo Sync	•
Timbre Shift			Vibrato Speed	1.1 Hz
Dynamic Range	40.0 %			
			Volume	48.8 %
			Stereo Width	100.0 %
Env Attack	0.0 %		Natural Releases	100.0 %
Env Release	50.0 %		Key Release	64.4 %
			Sustain Pedal	25.0 %

4.2. Advanced Settings - アドバンスト設定

ここでは、サンプルの音色やキーリリースなどのメカニカルノイズ、ダイレクト出力とステレオマイクに よるサンプルの音量バランス、内蔵トレモロのテンポ同期など、CP-70 V のサウンドに関するさまざまな 設定が行えます。このセクションは4つに分かれており、Instrument、Envelope、Output、Noises のサ ブセクションがあります。数値フィールドを上や下にドラッグして設定値を変更できます。

4.2.1. Instrument Settings

INSTRUMENT		
Tuning	440.0 Hz	
Detune	0.0 %	
Timbre Shift	0	
Dynamic Range	40.0 %	

ここでは、CP-70Vの基本的な音色キャラクターを設定します。

- Tuning: CP-70 V の全体的なチューニングを調整します。デフォルトは A=440.0Hz です。
- Detune:このパラメーターを上げると、全体的なチューニング設定を維持したまま、各ノートのチューニングが互いに変化します。設定値が低い状態では、心地よい、コーラスのような奥行き感のあるサウンドに、設定値を高くすると調律が狂ったようなサウンドになります。
- Timbre Shift:設定値をマイナスにするとソフトでミュートしたような音色に、設定値をプ ラスにしていくと明るく金属的なトーンになります。この音色変化は、サンプルをピッチ変 換したときと同様の変化になります。
- Dynamic Range: 音色の違い (音の明るさの変化) を維持したまま、非常にソフトに演奏した音と極めてハードに演奏した音との音量差を調整します。同様の設定にベロシティーカーブがありますが、ベロシティカーブはここでの設定値の範囲内で動作します。

4.2.2. Envelope Settings

ENVELOPE		
Env Attack	0.0 %	
Env Release	50.0 %	

CP-70 V は、音作りの可能性を広げるために、アタックとリリースのみのシンプルなエンベロープを内蔵 しています。

- Attack:音を弾いてから最大音量に達するまでの時間を調整します。
- Release:キーボードから指を放してから無音になるまでの時間を調整します。

人間の耳は、楽器の音を主に音のアタック部分で識別しますので、このパラメーターを上げると、弓で弾 いたような音やバイオリンのような音を作り出すことができます。一方、ここでのリリースの設定は、劇 的なサステインを得るためのものではありません。むしろ、ダンパーが弦に戻る速さに似ており、100% に設定すると、ダンパーが鈍い、あるいは粘り気の強いサウンドになります。リリースを 50% 前後に設 定すると、最も自然なサウンドになります。

4.2.3. Output Settings



アウトプットセクションでは、ダイレクト出力とマイク収録によるサンプルのバランス設定と、トレモロのテンポ同期設定などが行えます。このセクションは、2つのサブセクションに分かれています。

4.2.3.1. Direct Output

このサブセクションにある3つのパラメーターで、ダイレクト出力を収録したサンプルの音量と、このサ ンプルにのみ適用できるトレモロの設定を行います。

Tremolo Sync	
Vibrato Speed	1/8.d

Tremolo Sync がオンの場合、Speed の表示単位が Hz からテンポ に対する拍数に変わります。

- Volume:ダイレクト出力を収録したサンプルの音量を調整します。このパラメーターは、 メインパネルにある Volume [p.17] ノブのミラーリングです。
- Tremolo Sync:トレモロの周期 (スピード) をテンポに非同期のフリーランニング (Hz) にす るか、テンポ同期にするかを切り替えます。

 Vibrato Speed:トレモロの周期(スピード)を調整します。Tremolo Sync がオンの場合 は、数値フィールドをドラッグすると3連符や付点音符を含む、テンポに対する拍数が表示 されます。付点音符には d の、3連符には t の符号がそれぞれツールチップ [p.16]につきま す。このパラメーターは、メインパネルの Speed ノブのミラーリングです。

4.2.3.2. Microphones

- Volume:ステレオマイクで収録したサンプルの音量を調整します。
- Stereo Width:マイク収録サンプルのステレオの広がりを、モノ(ゼロ)から左右へ完全に 広げた状態(ハードパンニング:100%)の範囲で調整できます。

4.2.4. Noises Settings

NOISES	
Natural Releases	100.0 %
Key Release	64.4 %
Sustain Pedal	25.0 %

このサブセクションでは、オリジナルの CP-70 で見られた機構ノイズに関する設定を行います。

- Natural Releases:キーボードから手を放した後の自然な減衰の音量を設定します。
- Key Release:ハンマーが弦を叩いた後、元の位置へ戻るときに生じる音の音量を調整します。
- Sustain Pedal: (MIDI キーボードに) 接続したサステインペダルを踏んだときに、ダンパー が弦から離れる音の音量を調整します。

5. EFFECTS



CP-70 V は、バーチャル・インストゥルメント集である V Collection の最新バージョンから厳選された強 力なステレオエフェクトを数多く内蔵しています。最大で4つのエフェクトを同時使用でき、各エフェク トスロットでは13種類のエフェクトタイプから選択できます。これに加え、Twin アンプとロータリース ピーカーのモデリングから選択できるアンプシミュレーター [p.45]と、9種類の空間から選択できる最先 端のコンボリューションリバーブ [p.47]も使用できます。

CP-70 V のアッパーツールバーにある FX ボタンをクリックすると、上図の画面が開きます。

5.1. Effects routing



CP-70 Vのエフェクトはシリーズ接続です

CP-70 V のエフェクトルーティングは、シリーズ (直列) 接続固定です。左端のエフェクトから信号が入力 され、そこから右へ信号が流れていくというシンプルなルーティングです。ギターのベダルボードのよう に、好きなようにエフェクトチェインを構成することができます。専用のアンプシミュレーターは、この エフェクトの後段に、そのさらに後段にはリバーブ/ルームシミュレーターがそれぞれ配置されていま す。

5.1.1. エフェクトを入れ替える

4つのエフェクトスロットは、接続順を自由に変更できます。各エフェクトのノブ類以外の部分をドラッ グするとエフェクトの配置が変わります。エフェクトの移動先に別のエフェクトがすでにある場合は、2 つのエフェクトの位置が入れ替わります。

5.2. In、Out、Bypass



エフェクトスロットの右上には、エフェクト全体のバイパスを切り替える Bypass ボタンがあります。また、各エフェクトスロットにも個別のオン/オフボタンがあります。どちらの場合でも、エフェクトをオフ (バイパス) にしてもそのセッティングが消去されることはありません。バイパスボタンやオン/オフボタンは、CP-70 V での音作りや CP-70 V のサウンドを DAW のトラックに入れる際の音色比較に便利です。

Bypass ボタンの左側には、プリ (ln) とポスト (Out) のレベルノブがあります。In ノブはエフェクトチェ インに入力する信号レベルを調整し、Out ノブでエフェクトチェインからの信号をメインのアウトプッ トに送るレベルを調整します。Bypass ボタンがオン (全エフェクトがバイパス) の場合、この2つのノブ を操作しても音量は変化しません。

FX 1 Туре		
None		
Spatial	Dynamics	
Reverb	Compressor	
🔊 Delay	Limiter	
🔊 Analog Delay		
🔊 Tape Echo		
Distortions	Modulations The Chorus Flanger Phaser	
EQs	Constereo Pan	
	CryWah	

CP-70 V は5つのカテゴリーで合計13種類のペダ ルエフェクトを内蔵しています

各エフェクトスロットのエフェクト名のフィールドをクリックすると (空のスロットの「None」もクリッ クできます)、エフェクト選択メニューが開きます。エフェクトは、次の5つのカテゴリーに分類されてお り、多少選択しやすくなっています:

- Spatial (空間系):リバーブ、ディレイ、アナログディレイ、テープエコー
- Dynamics (ダイナミクス系):コンプレッサー、リミッター
- EQ:パラメトリック・イコライザー
- Distortion:ディストーション (5タイプのアルゴリズムから選択可能)
- Modulation (モジュレーション系):コーラス、フランジャー、フェイザー、ステレオパン、 クライワウ

各エフェクトタイプ [p.30]とその内容につきましては後述します。

5.4. エフェクトプリセット



CP-70 V の Delay のファクト リープリセット

CP-70 V の各エフェクトタイプにはプリセットがいくつか入っており、エフェクトスロットの上部にある エフェクト名のバーにある「Presets」をクリックするとアクセスできます。

エフェクトの音を素早く掴みたいときは言うまでもなく、プリセットは音作りの出発点として最適ですの で、すべてのプリセットをぜひチェックしてみてください。プリセットのメニュー最下部に「Save as...」というオプションがあり、これをクリックするとそのエフェクトをユーザープリセットして保存す るためのダイアログが開きます。エフェクトのユーザープリセットは、CP-70 V のプリセットの一部とし て保存されます。「Save」はユーザープリセットでのみ使用可能です(「Save as...」で複製したファクト リープリセットでも使用できます)。

5.5. Pedal Effect types - ペダルエフェクトタイプ

では、各エフェクトをご紹介します。このセクションでは、ペダルスタイルの各エフェクトをご紹介し、 アンプとルームシミュレーターは別のセクションでご紹介します。

5.5.1. Dry/Wet mix



Equalizer (イコライザー) を除くすべてのエフェクト・タイプには **Dry/Wet** ノブがあります (アンプとル ームシミュレーターでは横スライダー)。このノブで、入力信号とエフェクト成分の音量バランスを調整 できます。

♪ エフェクトはシリーズ接続ですので、あるスロットでは比較的ドライに近いセッティングでも、エフェクトチェ イン内の前のエフェクトの影響が多く残っている、つまり、先頭のスロットでない限り、ドライ信号が完全にエフェ クト成分のない信号とは限らない可能性がありますのでご注意ください。

5.5.2. エフェクトのテンポ同期



Delay の Sync スイッチをオンにすると設定値を テンポに対する拍数で設定できます

ー部のエフェクトでは、そのタイムや周期をテンポに同期させるオプションがあります。Sync トグルス イッチをオンにし、このスイッチに関連するパラメーターのノブを操作すると、その時の設定値がテンポ に対する拍数を表す音符や小節数などで表示されます。設定値の後ろに t の符号が付いている場合は、3 連符を表し、d の符号が付いている場合は付点音符を表します。符号がない場合は「ストレート」な拍数 になります。

テンポ同期オプションは、以下のエフェクトにあります:

- Delay
- Analog Delay
- Tape Echo
- Phaser
- Stereo Pan

では、エフェクト選択メニューに表示される順番で各エフェクトをご紹介します。

5.5.3. Reverb



リバーブ はレコーディングスタジオやコンサートホール、階段やタイル張りの浴室など、空間の残響音 を付加できるエフェクトです。リバーブは、エフェクトチェインの最終エフェクトとして使われることが 多く、他のすべてのエフェクトを同じ音響空間に置くことで、サウンドのまとまり感を出すことができま す (CP-70 V にはより洗練されたコンボリューションリバーブがルームシミュレーターに入っており、ペダ ルタイプのリバーブはクイックに使えるアルゴリズムタイプです)。

パラメーター	内容
Pre Delay	入力音のあとにリバーブ音が発生するまでの時間を設定します。
Decay	リバーブ音の長さを設定します。
Size	空間の大きさを調整します。ノブを左へ回すほど小さな空間に、右へ回すほど大きな空間になります。
Damping	リバーブ音の高音成分が減衰する速さを設定します。
HP Filter	エフェクトをかける前の入力音の低音成分を減少させます。
LP Filter	エフェクトをかける前の入力音の高音成分を減少させます。
MS Mix	リバーブ音のステレオ間の広がりを調整します。
5.5.4. Delay



ディレイ は、入力音のコピーを作成し、それを後から1回のみ、または繰り返し再生するエフェクトの総称です。CP-70 V には3タイプのディレイエフェクトがあり、**Delay** はオールラウンドに使用できるクリアな音のディレイです。

パラメーター	内容
Time	ディレイ音の間隔を設定します。テンポ非同期のほか、テンポ同期 (Sync、Triplets、Dotted) も選択できます。
Feedback	ディレイ音のリピート量を調整します。
Stereo	設定値を高くすると左右のディレイ音の差が生じ、ステレオ感が増します。
Sync	Time の設定をテンポ同期タイプに切り替えます。
Ping Pong	ディレイ音が左右に飛び交います。
HP Filter	設定値を高くするとディレイ音の低域成分が減少します。
LP Filter	設定値を高くするとディレイ音の高域成分が減少します。

5.5.5. Analog Delay



アナログディレイは、入力信号を「バケツリレー」式に送ることで信号を遅延させる BBD 素子を使用したアナログ回路によるディレイをシミュレートしたものです。CP-70 V のアナログディレイには LFO が内蔵されており、ディレイタイムに変調をかけてトリップしたようなエフェクトを作ることができます。

パラメーター	内容
Time	ディレイ音の間隔を設定します。テンポ非同期のほか、テンポ同期 (Sync、Triplets、Dotted) も選択できます。
Feedback	ディレイ音のリピート量を調整します。
Feedback Tone	フィードバックする信号の音の明るさを調整します。
Sync	Time と Rate の設定をテンポ同期タイプに切り替えます。
Rate	ディレイタイムを変調する LFO の周期を調整します。テンポ非同期のほか、テンポ同期 (Sync、Triplets、 Dotted) も選択できます。
Depth	LFO によるディレイタイムへの変調の深さを調整します。

5.5.6. Tape Echo



テープエコー は、Maestro Echoplex や Roland Space Echo など、ディレイエフェクトの初期に登場した、録音テープを使用したディレイマシンの特性を再現したものです。入力音がテープループに録音され、1つまたは複数の再生ヘッドで再生することでエコーを作ります。テープループは不安定ゆえにピッチや音色が変化するため、デジタルディレイと比較して原音に忠実ではなく、音に暖かみがある点が特徴です。

パラメーター	内容
Bass	ディレイ音の低域をブースト/カットします。
Treble	ディレイ音の高域をブースト/カットします。
Time	ディレイ音の間隔を設定します。テンポ非同期のほか、テンポ同期 (Sync、Triplets、Dotted) も選択できます。
Intensity	ディレイ音のリピート量 (フィードバック量) を設定します。
Sync	Time の設定をテンポ同期タイプに切り替えます。
Input	テープエコーへの入力レベルを調整します。設定値を高くするとアナログ独特の飽和感 (サチュレーション) が得られます。
Echo	ディレイ音の音量を設定します。

5.5.7. Distortion



CP-70 V の **ディストーション** には Arturia のディストーションエフェクトのフラッグシップである Dist COLDFIRE からのアルゴリズムが5種類内蔵されています。それぞれにユニークなサウンドの特徴があ り、繊細な音の暖かみから破壊的なサウンドまで、音色を自在に変化させることができます。

FX1 Distortion Type	
BitCrusher	
✓ Overdrive	
Wavefolder	
Waveshaper	
Таре	

5種類のディストーションタイ プ

アルゴリズムは、ディストーションペダルの上部にある左右の矢印ボタンをクリックするか、矢印ボタン の間にあるディストーション名のフィールドをクリックしてメニューを開いてそこから選択できます。

5.5.7.1. Overdrive

トランジスタやチューブアンプの入力ゲインを上げることで得られるクラシックなオーバードライブをシ ミュレートしたものです。

パラメーター	内容
Drive	入力をオーバードライブさせることで得られる歪みの量を設定します。
Out Gain	Drive の設定により上がった全体音量を補正します。

5.5.7.2. Wavefolder

ウェーブフォルダーは、波形の山と谷の部分をそれぞれの反対方向へ折りたたむことで新たな倍音を生じ させ、複雑な波形を作り出すエフェクトです。

パラメーター	内容
Drive	入力信号をドライブさせて、波形を折りたたむ量を設定します。
Out Gain	Drive の設定により上がった全体音量を補正します。
Туре	折りたたんだ波形をスムージングする (サイン波) か、しない (矩形波) を選択します。

5.5.7.3. Waveshaper

ウェーブシェイパーは、波形の上がり下がりにかかる時間を変化させるエフェクトです。例えば、三角波 にウェーブシェイパーをかけると、波形の各周期の上がる時間が短くなり、ノコギリ波のような形に変化 します。ウェーブシェイパーをさらに深くかけると、波形の各周期での下がる形に変化が生じ、より複雑 な倍音構成の波形に変化します。

パラメーター	内容
Drive	ウェーブシェイピングの量を設定します。
Out Gain	Drive の設定により上がった全体音量を補正します。

5.5.7.4. Tape

ディストーションでのこのアルゴリズムは、過大入力で録音したときのアナログテープのサチュレーショ ン (飽和) をシミュレートします。

パラメーター	内容
Drive	テープ飽和の量を設定します。
Out Gain	サチュレーションがかかった信号の全体的な出力レベルを調整します。

5.5.7.5. Bitcrusher



ビットクラッシャーにはその名の通り、ビットをクラッシュする働きがあります。技術的には、入力音 のビット解像度とサンプルレートを低下させることができます。ビット解像度(16ビットや8ビットなど) は音量に影響し、サンプルレート (CD の 44.1kHz など)は、周波数特性に影響します。ミュージシャンが ビンテージサンプラーやゲーム機、コンピュータの「ローファイ」サウンドについて話しているときは、 ビットクラッシュのことを指しています。

パラメーター	内容
Bit Depth	振幅のグラデーションをレンダリングするビット数を下げます。
Downsample	入力信号を再現するサンプルレートを低下させます。

5.5.8. Equalizer



イコライザーは、シンセのフィルターやトーンコントロールのような幅広い音作りとは対照的に、非常に精密な音作りができます。設定した周波数を緩やかに、あるいは極めてシャープにブースト/カットして、全体的な音質や問題のある帯域のカットに使用します。

CP-70 V の EQ には3つのバンドがあり、ハイとローバンドでは中心周波数、ブースト/カット量 (ゲイン)を調整でき、ミッドレンジはこれらに加えてバンド幅 (Q) も調整できます。

パラメーター	内容
Gain	そのバンドのブースト/カット量を調整します。
Frequency	そのバンドの中心周波数を設定します。
Q	ブースト/カットにより音質が変化する帯域の幅を調整します (ミッドレンジのみ)。
Scale	EQ カーブが入力音に与える全体的な影響を調整します。

5.5.9. Compressor



コンプレッサー は、音のダイナミックレンジを調整するエフェクトで、入力音の最大音量と最小音量の 差を小さくします。これは、入力音が設定したレベル (スレッショルド) を超えたときに、入力音のレベル を一定量 (レシオ) 低減することで行います。

パラメーター	内容
Threshold	コンプレッサーが動作し始めるレベルを設定します。
Ratio	入力音がスレッショルドレベルを超えたときに音量を低減する量を設定します。
Attack	入力音がスレッショルドレベルを超えて、コンプレッションがかかるまでの時間を調整します。
Release	入力音がスレッショルドレベルを下回り、コンプレッションを開放するまでの時間を設定します。
Output Gain	コンプレッションにより下がる全体音量の補正量を調整します。
Make Up	コンプレッションにより下がる全体音量を (自動で) 補正します。

♪ コンプレッサーの仕組みを理解するのに最適な古いジョークがあります。スレッショルドは、あなたが音楽を聴いているときに、親が音量を下げるように言い出す音量レベルです。レシオは、そのときにあなたが音量を下げる量です。アタックは親が文句を言い出してから実際に音量が下がるまでの時間で、リリースは、親が去ってから音量がもとに戻るまでの時間です。

5.5.10. Limiter



リミッター は、入力信号のレベルをコントロールするという意味ではコンプレッサーと動作が似ていま すが、コンプレッサーが一定割合で音量を下げるのに対し、リミッターは設定したレベルから絶対に上が らないに動作します。リミッターが「壁のようなエフェクト」と呼ばれるのは、この動作に由来していま す。

パラメーター	内容
Input Gain	リミッターへの入力レベルを設定します。
Release	リミッター効果を解放する時間を設定します。
Output Level	内部的なリミッター量を保持したまま、リミッターの全体的な出力レベルを調整します。

5.5.11. Chorus



コーラス は、1970年代中盤にローランドがギターアンプの Jazz Chorus とエフェクトペダルの CE-1 で 世界で初めて開発されたエフェクトです。入力音に比較的短いディレイをかけて複製(*ボイス*と呼びます) を作り、ディレイタイムを LFO でゆっくりと変調させた信号を入力音にミックスして、音の厚みを演出 するというエフェクトです。

パラメーター	内容
LFO Freq	コーラスのうねりの周期を調整します。
Depth	コーラスのうねりの深さを調整します。
Feedback	エフェクト成分を再入力させる量を調整します。
Delay	コーラスのディレイタイムを設定します。
Stereo	コーラスの動作をモノまたはステレオに切り替えます。
Voices	コーラスボイスを作るディレイラインの数 (1、2、または 3) を選択します。各コーラスボイスのスタート位 相は異なります。
Shape	うねりの波形 (サイン波または三角波) を選択します。

5.5.12. Flanger



フランジャーは、強烈なタイム/モジュレーションエフェクトです。オーディオエンジニアが、回転しているテープリールのフランジ(縁)を押さえて、再生スピードをわずかに遅くしたことがその由来です。元の信号とミックスすることで、特徴的な「ジェットエンジン」エフェクトが生まれます。

パラメーター	内容
LFO Freq	LFO の周期を調整して、フランジャーのうねりのスピードを設定します。テンポ同期のオプションがありま す。
Depth	LFO によるディレイタイムの変調量を調節し、フランジャーのうねりの深さを設定します。
Feedback	フィードバックを加えることで、ハーシュ感やうねりの「鳴り」を作り出します。フィードバックの暴走を 防止するため、最高値は 99% になっています。
Stereo	動作をモノまたはステレオに切り替えます。
Phase Invert	フランジャーの位相をアディティブまたはサブトラクティブに切り替えます。
HP Filter	フランジャーをかける前段で、入力音の低域成分を調整します。
LP Filter	フランジャーをかける前段で、入力音の高域成分を調整します。

5.5.13. Phaser



フェイザー は入力音を分岐し、片方の信号の位相を変化させ、元の信号とミックスします。位相が変化 した信号を LFO で変調することにより、ノッチ/コムフィルター効果が周波数帯域を行き交い、特有の 「シュワシュワ」したサウンドになります。

♪ フェイザーの象徴的な使い方としては、ゲイリー・ライトとジャン・ミッシェル・ジャールのアナログストリン グス、そしてスティーリー・ダンなどでよく使われたエレビサウンドが挙げられます。

パラメーター	内容
Rate	フェイザーのうねりの周期を調整します。テンポ非同期、テンポ同期の各オプションから選択できます。
Feedback	エフェクト音を再入する量を設定し、より強烈なフェイザーサウンドにします。
Depth	うねりの深さを調整します。
NB Poles	フェイザーのフィルターの急峻度を設定します。
Sync	Rate の動作をテンポ同期モードに切り替えます。
Mono/Stereo	フェイザーの動作をモノまたはステレオに切り替えます。

5.5.14. Stereo Pan



ステレオパンは、CP-70 Vのサウンドをステレオ間で自動的に移動させ、音に動きや広がり感を付加します。

パラメーター	内容
Rate	ステレオパンニングのスピードを調整します。テンポ非同期、テンポ同期の各オプションから選択でき ます。
Shape	音像移動の波形を次から選択します:サイン波、三角波、ノコギリ波、ランプ波、矩形波
Sync	Rate の動作をテンポ同期モードに切り替えます。
LP Mono	オンの場合、低音域は音像移動せず、高音域のみをパンニングさせます。

5.5.15. CryWah



ワウペダルの定番「クライベイビー」をベースにしたこの **クライワウ**は、入力信号の音量変化 (音量エン ベロープ) に追従してフィルターをかけ、「ワウワウ」トーンを作り出します。

パラメーター	内容
Manual	エフェクトが最も強くかかるフィルターの中心周波数を設定します。
Sensitivity	エンベロープフォロワーがワウをトリガーするスレッショルドレベルを設定します(ワウが反応する音量レ ベルを設定します)。
Rate	ワウが自動で上下するスピードを調整します。
Depth	ワウの深さを調整します。

5.6. Amp Simulator

4つのペダルタイプ・エフェクトスロットの後段にはアンプシミュレーターがあり、エレクトリックグラ ンドの CP シリーズでよく使われていた2タイプのアンプモデルを内蔵しています。エフェクト名のフィー ルドをクリックして Rotary Speaker または Twin Amp のいずれかを選択できます。

5.6.1. Rotary Speaker



ドン・レズリー (Don Leslie) が発明したロータリースピーカーは、トーンホイール式オルガンと組み合わ せて使用することが最も一般的で、トレブルドライバー (高音域用スピーカー) に取り付けられたホーンと ベーススピーカー (低音域用スピーカー) に取り付けられた円筒形のバッフルローターがそれぞれ回転して 作り出す広がりのあるサウンドは、まさに伝説的です。

パラメーター	内容
Rotary Type Select	5種類のロータリー・キャビネットモデルから1つを選択します。
Main/Advanced	表示をメインまたはアドバンスト (後述) に切り替えます。
Fast	ホーンとローターの回転スピードをスローまたはファストに切り替えます。
Brake	キャビネットシミュレーションをオンにしたまま、ホーンとローターの回転が停止します。
Stereo	ロータリー・キャビネットに当てたパーチャル・ステレオマイクのパンニングを調整します。
Balance	トレブルホーンとベースローターの音のバランスを設定します。

♪ ロータリータイプについて、「Closed」と「Open」はそれぞれ、バーチャルマイクをキャビネットの正面外側から当てるか、背面の開口部からホーン/ローターに直接向けるかの違いがあります。122 と 147 は、ロータリースピーカーの定番モデルで、後者は一般的に明るめの音色で、より「ロック」なサウンド向きです。

5.6.1.1. ロータリーのアドバンスト・パラメーター



ロータリースピーカーの Advanced ボタンをクリックすると、詳細パラメーターのパネルが開き、スロー とファストそれぞれの回転スピード、スローからファスト (またはその逆) に切り替わる時間を、トレブ ルホーンとベースローターごとに設定できます。

パラメーター	内容
Slow	トレプルホーン/ベースローターのスロー時の回転スピードを設定します。
Fast	トレプルホーン/ベースローターのファスト時の回転スピードを設定します。
Accel	トレブルホーン/ベースローターがスローからファスト (またはその逆) に切り替わる時間を設定します。

5.6.2. Twin Amp



CP-70 の全盛期には専用のキーボードアンプは存在していませんでしたので、プレイヤーはベースやギタ ーアンプを使用することがよくありました。Twin はウーリッツァーと相性の良い有名なギターメーカー のアンプをシミュレートしています。オリジナルのアンプと同様、Twin モデルにはスプリングスタイル のリバーブとトレモロが搭載されています。

パラメーター	内容	
On Axis	よりダイレクト感があるサウンドになる、スピーカーコーンに対して90度の角度でマイクを当てた状態をシ ミュレートします。	
Bright	高音を強調します。	
Drive	アンプの入力ゲインを設定します。高く設定すると、ややオーバードライブがかったトーンになります。	
Reverb	Twin アンプに内蔵のスプリングリバーブの深さを調整します。	
Bass, Mid, Treble	低音、中音、高音のブースト/カットを調整する、シンプルなトーンコントロールです。	
Speed	Twin アンプに内蔵のトレモロのスピードを設定します。	
Intensity	内蔵トレモロの深さを設定します。	

5.7. Room Simulator



CP-70 V のルームシミュレーター (リバーブ) は、コンボリューションと呼ばれる技術を用い、驚くほどリ アルな音響空間を作り出します。この技術は、実際の空間で鋭いアタックで短い音 (ハンドクラップ、銃 声など)を録音して、その空間の残響特性をモデル化します。この段階での録音は、録音した音を直接的 に利用するサンプリングではなく、その残響特性を得るためのものです。こうして作成したモデルに、入 力信号 (CP-70 V であればエレクトリックグランドの音)を当てはめ、その信号がその空間モデルでどのよ うに聴こえるか (どのような残響音が付加されるか)を推定します。



CP-70 V で使用できるルームタイプ

空間の画像の下にあるルーム名をクリックしてバーチャル音響空間を選択します。上図の通り、9種類の タイプがあり、かつてレコーディングスタジオでよく使われていた、大きな金属製プレートでリバーブを 作り出すプレートリバーブのシミュレーション2種類もあります。

5.7.2. ルームパラメーター

コンボリューションリバーブは、内部的に非常に多くのことを処理していますが、パラメーター構成はシ ンプルです。

パラメーター	内容
Pre-Delay	初期反射音が発生するまでの時間を調整します。
Size	バーチャル音響空間の大きさを調整します。
Decay	残響音の長さを調整します。

♪ 初期反射音とは、空間内で音が最初に反射した音で、多くの場合、エコーやスラップバック (ごく短いディレイ) のように聴こえることがあります。

6. USER INTERFACE



このチャプターでは、メインパネルやアドバンストパネルにない機能、つまり、現代の音楽制作環境で CP-70 Vを快適に使用するためのユーティリティ的な機能をすべてご紹介します。

CP-70 V のメインパネル [p.16]の画面上端と下端のツールバーには、プリセットの選択やその他のユーティリティ設定を行える重要な機能が数多く入っています。

また、サイドパネルもあり、そこでは重要なグローバル設定や MIDI 設定、ノブ操作ひとつで複数のパラ メーターを一斉にコントロールできるマクロ [p.64]の使用と作成ができ、CP-70 V のインタラクティブな チュートリアルを見ることができます。

アッパーツールバーには次のような機能があります:

- メインメニュー [p.50]
- プリセットネームペーン (プリセット名表示エリア) とプリセットブラウザ [p.67]にアクセス するボタン
- アドバンストパネル [p.54]を開くボタン
- エフェクト [p.26]パネルを開くボタン
- サイドパネル [p.58]を開くギアのアイコン

ロワーツールバーには次のような機能があります:

- ノブなどにマウスオーバーすると情報を表示するパラメーター名表示エリア [p.16]
- アンドゥ、リドゥ、エディット履歴 [p.56]
- CPU メーター [p.57]とパニック [p.57]機能
- マクロノブ [p.57] (サイドパネルにあるマクロのミラーリング)
- CP-70 V の画面サイズを調整するリサイズハンドル [p.57]

サイドパネルには次のような機能があります:

- Settings タブ [p.58]
- MIDI タブ [p.59]
- マクロタブ [p.64]
- チュートリアル [p.66]

6.1. Upper Toolbar - アッパーツールバー

まずは、アッパーツールバーに入っている各種機能をツールバーの左から順にご紹介します。

6.1.1. Main Menu - メインメニュー



アッパーツールバーの左にある「ハンバーガー」アイコン (横3本線のアイコン) をクリックすると、プリ セットの管理などの便利な機能が豊富に入っているドロップダウンメニュー形式のメインメニューが開き ます。

6.1.1.1. New Preset

全パラメーターがデフォルト状態のプリセットを新規作成します。

6.1.1.2. Save Preset

選択しているプリセットに行ったエディットを、そのプリセットに上書き保存します。このコマンドは、 ユーザープリセットにのみ使用でき、ファクトリープリセットを選択しているときはグレーアウト表示に なります。 エディットしたプリセットを別名で保存します。このコマンドをクリックすると保存するプリセットに名 前やその他の詳細情報を入力する下図のような画面が開きます:

± Save As		
Ne M'Oublie Pas	Stephen Fortner	Recreation of the CP electric grand sound from the song "Don't You Forget
		About Me" by Simple Minds. Chorus depth assigned to knob 8 of my controller.
User 🗸 🗸	Classic EP 🗸 🗸	
CINES 60s 70s 80s 90s Ambient Berim Breakbait Chiptune Cinematic Detroit Bisco Downtempo Pum 8 Bass Dub/Reggie Dubstep Biecto Experiment Footwork Funk Fusion Future Bass G Grime Hard Techno Heavy Metal Hip Ho	Bass Music Acid Airy Atmospheri Classical Clean Complex Dark Hard Harsh Huge M Same Audio Warm •	CHARACTERISTICS CBitarre Bright Classic Deep Drity Funky Long Muth/Split Natural Noise Phrases slow Metodic Punchy Processed Random Rese Reverb Reversed Rise off Soundscape Thin Sample-based Sequence/Loop Short Slow Attack Solo Stab Synced Synth Translent Tribute Vibrato Wah +
		Cancel Save

】 ♪ Bank、Author、Type の各フィールドはいずれも、プリセットブラウザ [p.67] でプリセットをサーチするときに 便利です。各フィールドに入っている単語はタグ [p.68] で、プリセットブラウザで絞り込みサーチをする際に利用でき ます。

6.1.2. Save as Opening Preset

このコマンドは、プラグインモードでのみ使用でき、現在選択しているプリセットを DAW のトラックに CP-70 Vを新規に立ち上げたときにデフォルトで開くプリセットとして保存することができます。

6.1.2.1. Import...

このコマンドは、コンピュータに保存されているプリセット単体のファイルや1バンク分のプリセットファイルをインポート (ファイル読み込み) するときに使用します。このコマンドを選択すると、コンピュータの OS のファイルブラウザが開き、インポートするファイルを指定できます。

6.1.2.2. Export...

プリセットをコンピュータにエクスポート (ファイル書き出し) する方法は、単体プリセットと1バンク分の2種類があります。どちらの場合でも、このコマンドを選択するとコンピュータの OS のファイルブラ ウザが開き、ファイルを保存する場所を指定できます。プリセット単体でも1バンク全体でも、ファイル には .cpx の拡張子がつきます。



 Export Preset:プリセット単体をエクスポートします。このコマンドは、プリセット1つを 他のユーザーとシェアしたいときに便利です。保存したプリセットは、Import コマンドで 読み込むことができます。 Export Bank: 1バンク分のプリセットを1つのファイルとしてエクスポートします。バック アップを取るときや、多くのプリセットを一度にシェアしたいときに便利です。保存したバ ンクは、Import コマンドで読み込むことができます。

6.1.2.3. Resize Window

	Zoom Out (Cmd -)
	Zoom In (Cmd +)
	50%
	60%
	70%
	80%
	90%
	100%
	120%
	140%
√	160%
	180%
	200%

CP-70 V の画面は 50% - 200% の範囲で画質に影響なくサイズを調整できます (デフォルトサイズは 100% です)。ラップトップなど比較的小さいディスプレイの場合は、画面サイズを縮小して CP-70 V だけでディ スプレイがいっぱいにならないようにすることができます。また、大型ディスプレイやセカンドモニター をご使用の場合は、画面サイズを拡大してパラメーターやグラフィックをより見やすい状態にすることが できます。

画面サイズの調整は、キーボードショートカットでも行えます。CTRL キーを押しながら「-」(Windows)、または CMD キーを押しながら「-」(macoS) を押すと、画面サイズが1段階ずつ縮小し、CTRL キーを押しながら「+」(Windows) または CMD キーを押しながら「+」(macOS) を押すと 画面サイズが1段階ずつ拡大します。

上記の操作に加えて、ロワーツールバーの右にあるリサイズハンドル [p.57]をドラッグして画面サイズを 自在に調整することもできます。

6.1.2.4. Audio MIDI Settings

このオプションは、CP-70 V をスタンドアローンモードで使用しているときにのみ表示されます。プラグ インモードで使用しているときは、このオプションでの設定項目は DAW やホストアプリケーションで行 います。チャプター2「最初の設定 [p.10]」で Windows 版と macOS 版の設定方法などの詳細をご紹介し ていますので、そちらをご覧ください。スタンドアローンモードでの設定項目や設定方法は、Windows 版でも macOS 版でもほぼ同じです。

6.1.2.5. Tutorials



CP-70 V は、さまざまな機能をご紹介するインタラクティブなチュートリアルを内蔵しています。このオ プションをクリックすると画面右側にチュートリアルを表示するスペースが開きます。その中の項目を選 択すると、その機能を1つずつご紹介し、その進行に合わせて関連するパラメーターなどがハイライト表 示されます。

6.1.2.6. Help

CP-70 V の操作方法などでわからないことがありましたら、このオプションからユーザーマニュアルや Arturia ウェブサイトの FAQ (よくある質問) へのリンクにアクセスできます。このオプションを使用する 際は、インターネット接続が必要です。

6.1.2.7. About

このオプションを選択すると、CP-70 V のバージョンと開発者リストが表示されます。CP-70 V の画面で About 画面以外のところをクリックすると、ポップアップ画面が閉じます。

6.1.3. プリセットブラウザへのアクセスとネームペーン



「本棚の本」ボタン (|||\) をクリックすると、プリセットブラウザ [p.67]が開き、CP-70 V のプリセットの ブラウズ、並べ替え、整理などを行えます。



プリセットネームペーン (プリセット名表示エリア) をクリックすると、上図のようなドロップダウンメニューが開き、プリセットブラウザを開かなくてもプリセットを素早く選択できます。このメニューから、 プリセットをタイプ別に選ぶことも、全プリセットを一覧できる All から選択することもできます。

プリセットの管理などの詳細につきましては、次のチャプター [p.67]でご紹介しています。そこでは、ハートのアイコンをクリックすることでタグ付けできるフェイバリット機能の使用法などもご紹介しています。

プリセットネームペーンに表示されているプリセット名の後ろにアスタリスク (*) が表示されている場合、そのプ リセットはエディット中で未保存の状態になっていることを示しています。

6.1.4. Advanced Button

Advanced

アッパーツールバーの右側には **Advanced ボタン** があります。このボタンをクリックすると、メインパ ネルの下部が拡張してアドバンストパネル [p.20]が開き、ベロシティカーブの調整やその他の拡張機能に アクセスできます。

6.1.5. FX Button



このボタンをクリックするとエフェクト [p.26]パネルが開きます。エフェクトの詳細につきましては、チャプター5をご覧ください。



このノブで CP-70 V の全体的な音量を調整できます。レベルに影響する他のインストゥルメントやエフェ クトパラメーターの後段に位置する、最終的なボリュームです。特に信号が大きすぎる場合、DAW のミ キサー画面に切り替えることなく、DAW トラックで楽器のレベルを調整するのに便利です。

6.1.7. ギアのアイコン



このアイコンをクリックすると、マクロやチュートリアルなどが入っているサイドパネル [p.58]が開きます。

6.2. Lower Toolbar - ロワーツールバー

3% Brightness (Time Timbre Movement

CP-70 V のロワーツールバーの表示は、左右に分かれています。左側にはパラメーター名などの情報を表示するエリアがあり、右側には便利なユーティリティ機能のボタンがあります。

6.2.1. パラメーター情報エリア

Tremolo Speed (Hz): Sets the speed of the tremolo (Hz)

メインパネルの Tremolo Speed ノブにマウスオーバーしてそのパラメーター情報を表示させた状態

ノブやボタン、アイコンなどのコントロール類を操作したりマウスオーバーしたりすると、その情報が表示されます。ロワーツールバーの左側にある機能は、これだけです。

CP-70 Vのロワーツールバー (右側部分)

6.2.2. Undo, Redo, and History - アンドゥ、リドゥ、エディット履歴



バーチャルインストゥルメントをエディットしていると、パラメーターのスウィートスポットを通り越し てしまうことがよくあり、どうすれば元の状態に戻れるかがわからなくなってしまうことがあります。他 の Arturia プラグインと同様、CP-70 V にはアンドゥ、リドゥ、エディット履歴の機能が内蔵されていま すので、希望の地点にまでいつでも安全に戻ることができます。

6.2.2.1. アンドゥ

左向きの矢印アイコンをクリックすると、直前に行ったエディットを取り消して、それ以前の状態に戻り ます。このアイコンを繰り返しクリックすることで、それまで行ったエディットを1つずつ取り消してい きます。

6.2.2.2. リドゥ

右向きの矢印アイコンをクリックすると、直前に取り消したエディットを再実行します。アンドゥを複数 回行っていた場合は、このアイコンを繰り返しクリックすると、それまでに取り消したエディットを1つ ずつ再実行していきます。

6.2.2.3. エディット履歴

2つの矢印アイコンの間にある「ハンバーガー」(横3本線) アイコンをクリックすると、上図のような History (エディット履歴) ウィンドウが開きます。ここには、CP-70 V で行ったエディット操作が1つずつ 記録されています。このリスト内の項目をクリックすると、そのエディット操作を再実行するだけでな く、*最初に* その操作を行ったときの CP-70 V の全体的な状態に戻ります。

6.2.3. CPU Meter - CPU メーター



アンドゥセクションの右には **CPU メーター** があり、CP-70 V によるコンピュータの CPU 負荷を表示しま す。このメーターは、CP-70 V の CPU 負荷のみを表示するものですので、DAW の CPU 負荷を測るもので はありません。

6.2.3.1. Panic



CPU メーターにマウスオーバーすると、文字表記が PANIC に変わります。これをクリックすると、オー ルサウンドオフが送信され、CP-70 V でのオーディオ処理を停止し、無音になります。このコマンドは瞬 間的なものですので、DAW が再生中の場合は再び音が出ます。

深刻なオーディオ暴走 (例えば、フィードバックループに入って音が止まらなくなってしまったディレイ など)が発生した場合は、DAW の再生を停止し、問題の原因となっているプラグインを無効にしてくださ い。

6.2.4. Macro controls - マクロノブ



マクロは、ノブ1つで複数のパラメーターを同時にコントロールできるもので、サイドパネルのマクロ [p.64]タブにあるマクロノブのミラーリングにもなっています。ファクトリープリセットには、便利なマ クロがプログラムされています。

6.2.5. Resize handle - リサイズハンドル



マクロノブの右にある斜線のアイコンをドラッグすると、CP-70 V の画面サイズを調整できます。リサイズハンドルで画面サイズを調整する場合、メインメニュー [p.50]の Resize Window [p.52] で設定できる画面サイズの各段階に最も近いサイズにスナップします。



リサイズハンドルの上に斜めの矢印が2つ並んだボタンが表示されることがあります。これは、何らかの 理由で CP-70 V のパラメーターなどが画面内にすべて表示されていない場合にこのボタンが表示されま す。このボタンをクリックすると、画面表示の縮尺を再調整して画面内にすべてが表示されるようになり ます。

6.3. The Side Panel - サイドパネル

アッパーツールバーの右側にあるギアのアイコンをクリックすると **サイドパネル** が開きます。このパネ ルには、CP-70 V で演奏や音色エディットをする際に、すぐにアクセスする必要のない重要な各種設定を 行う次の4つのタブが入っています:

• Settings: MIDI 受信チャンネルやアクセシビリティなどのグローバル設定を行います。

• MIDI:コントローラーや DAW からの MIDI CC (コンテュニアスコントロール) メッセージと CP-70 V のパ ラメーターをマッピングする MIDI ラーン機能が入っています。

• **Macro**:4つのマクロノブそれぞれに複数のパラメーターを割り当て、ノブの操作ひとつでそれらを一 斉にコントロールすることができます。

• Tutorials:アプリ内で動作するインタラクティブなチュートリアルです。メインメニューからもアクセ スできます。

左側のタブから順に見ていきましょう。

6.3.1. Settings Tab

このタブでは、受信した MIDI メッセージに対して CP-70 V がどのように反応するかを設定します。



サイドパネルの Settings タブ

6.3.1.1. MIDI Channel

CP-70 V が受信する MIDI チャンネルを選択します。特定のチャンネルに設定することもできますし、「All」を選択してオムニモード (全チャンネル受信モード) にすることもできます。

オンにすると、お使いのコンピュータのシステムレベルのアクセシビリティツールが CP-70 V にアクセス できるようになります。

6.3.2. MIDI Tab

Setting	gs) MIDI	€ © Macros	e Tutorials				
MIDI CONTROL								
MIDI C	config	g	* 🗸					
		Le	arn					
Ch	сс	Control	Min	Мах				
1	74	EQ Bass	0.00	10.0				
1	71	EQ Mid	0.00	10.0				
1	76	EQ Treble	0.00	10.0				

ここで CP-70 V を MIDI ラーンモードにすることができます。このモードでは、MIDI アサイン可能なパラ メーターがすべてハイライト表示になり、MIDI コントローラーのノブやスライダーなどをパラメーター にマッピングすることができます。典型的な例としては、エクスプレッションペダルをマスターボリュー ムにマッピングしたり、MIDI コントローラーのノブをフィルターのカットオフフリケンシーのノブにマ ッピングしたりすることができます。

サイドパネルの MIDI タブ

6.3.2.1. MIDI Controller menu



MIDI Controller メニュー

MIDI タブの最初のパラメーターは **MIDI Controller** です。このドロップダウンメニューでは、さまざまな Arturia MIDI コントローラーのテンプレートから選択できます。このテンプレートは、CP-70 V でよく使 われるパラメーターがあらかじめマッピングされており、プラグアンドプレイですぐに使用できるという ものです。サードパーティ製 MIDI コントローラー用の Generic (汎用) テンプレートも選択できます。

6.3.2.2. MIDI Config menu



MIDI Config メニュー

MIDI Config のドロップダウンメニューでは、MIDI コントローラーから CP-70 V をコントロールするさま ざまな MIDI マッピングのセットを管理することができます。現在の MIDI アサイン設定の保存や削除、マ ッピングファイルをインポートしたり、現在のマッピングをファイルとしてエクスポートしたりすること ができます。

ハードウェアを入れ替えるたびにすべてのアサインを最初から作成することなく、さまざまなハードウェア MIDI キーボードやコントローラーを CP-70 V で簡単に使用できるようになります。

例えば、ライブではコンパクトなキーボード、レコーディングではマスターキーボードやパッドコントロ ーラーなどというように、複数の MIDI コントローラーをお使いの場合、それぞれに合わせたマッピング を作成し、それを保存しておくことで、それをロードするだけでセッティングが完了します。これによ り、ハードウェアを入れ替えるたびにマッピングを最初からやり直す必要がなくなり、セッティング時間 を大幅に短縮できます。

各オプションのうち、次の2つは特に強力です:

- Default:マッピング作成の出発点として活用できます。
- Empty:パラメーターのアサインをすべて削除します。



MIDI ラーンモードに入ると、アサイン可能なパラメーターは表示色がパープルに、アサイン済みのもの は表示色が赤になります。

MIDI タブの Learn ボタンをクリックすると CP-70 V がラーンモードに入ります。この時、MIDI アサイ ン可能なコントロール類の表示色がパープルになります。すでにアサイン済みのものは赤く表示されます (アサイン済みのものも変更できます)。上のスクリーンショットは、CP-70 V のデフォルト設定にアサイ ンされたパラメーターと未アサインのパラメーターを示したものです。

パープルのパラメーターをクリックすると、その名称がリストに表示されます。次に、お使いの MIDI コントローラーのノブ等を操作します。すると選択したパラメーターの表示色がパープルから赤に変わり、アサインされた MIDI CC ナンバーがリストのパラメーター名の左に表示されます。

MIDI アサインを解除するには、アサイン済みのパラメーターを Ctrl-クリックまたは右クリックします。 また、後述の MIDI パラメーターメニュー [p.63]でアサインを解除することもできます。

♪ メインパネル、アドバンストパネル、エフェクトパネルの各パラメーターは、MIDI ラーンに対応しています。ま た、アッパーツールバーの上下の矢印ボタン (▲/▼) も MIDI ラーンに対応しています。 MIDI アサインリストの左から2つのコラムは、その MIDI アサインの MIDI チャンネル (**Ch**) とコントロー ルチェンジ・ナンバー (**CC**) です。最大16種類のチャンネルと127種類の MIDI コントロールチェンジ (MIDI CC) を使用でき、それぞれを自由にアサインできますが、多くのインストゥルメントでは一定のル ールに従うように設計されています。例えば、モジュレーションホイールはほとんどの場合 MIDI CC 1、 マスターボリュームは CC 7、サステインペダルは CC 64となっています。

MIDI アサインリストの右から2つのコラム (Min と Max) は、コントローラーを操作したときに CP-70 Vの パラメーターが反応する下限値と上限値です。例えば、フィルターのカットオフが変化する範囲に制限を 設けておけば、ライブなどでカットオフのノブを回しても設定した範囲でのみカットオフが動き、事故防 止に役立ちます。

数値を上や下にドラッグすると値を変更できます。最高値を最低値よりも低く設定すると、フィジカルコ ントローラーの極性が反転し、例えばスライダーを*上げる*とパラメーターの値が*下がる*といった設定に できます。

オンとオフの2ポジションしかないスイッチは、コントローラーのボタンにアサインするのが一般的ですが、お好みでフェーダーにアサインしても差し支えありません。

】 ♪ メインパネルのパラメーターだけでなく、アドバンストパネルの多くのパラメーターも MIDI ラーンに対応して います。

6.3.2.5. MIDI Parameter Menu - パラメーターメニュー

リスト内のアイテム (パネル画面にあるパラメーターではありません) を Ctrl-クリックまたは右クリック すると、下図のような便利なメニューが開き、パラメーターごとに設定できます。

√	Absolute
	Relative
	Delete
	Change Parameter

右クリックでこのメニューが *開きます*

- Absolute: MIDI コントローラーから送信された値にアサインされたパラメーター値がその まま追従します。
- Relative: MIDI コントローラーでの操作に応じて、アサインされているパラメーターがその時の値から上下に変化します。このモードは、マッピングしたコントロール類が360°回せるロータリーエンコーダーの場合に便利です。
- Delete:コントローラーとパラメーターのマッピングを解除し、パラメーターの表示色をパープルに戻します。
- Change Parameter:これを選択すると、CP-70 V でアサインできるパラメーターを表示す る大きなサブメニューが開きます。このサブメニューで、マッピング済みの MIDI CC とパラ メーターを手動で変更できます。この機能は、コントロールしたいパラメーターがすでにわ かっているときに便利です。

6.3.2.6. 機能固定の MIDI CC ナンバー

次の MIDI コンティニュアスコントローラー (CC) ナンバーは機能が固定されており、他の用途にアサイン することはできません:

- ピッチベンド
- アフタータッチ (チャンネルプレッシャー)
- オールノートオフ (CC #123)

その他の MIDI CC ナンバーはすべて自由に CP-70 V のパラメーターにアサインできます。

6.3.3. Macro Tab - マクロタブ

このタブでは、ロワーツールバーの右側にある4つのマクロノブにパラメーターを割り当てることができます。1つのノブに複数のパラメーターを割り当てることができ、MIDI ラーン [p.59]機能を使用してマクロノブを MIDI コントローラーのノブ等にマッピングすることもできます。

Settings) MIDI	⊖ လ ⊙ Ģ Macros	Tutorials		
MACRO CON Brightness	Timbre	Time	Movement		
	Lea	arn			
Destina	ation	Mi	n Max		
> EQ Tre	ble	0.00	0 0.856		
> FX1 Eq	> FX1 Equalizer HighShelf Ga 0.000 1.000				

サイドパネルのマクロタブ

マクロの設定はプリセットごとに保存できます。

6.3.3.1. マクロスロット

マクロノブの1つをクリックするとそのマクロが選択され、その内容を変更できます。4つのマクロノブの デフォルトでの名称はそれぞれ Brightness、Timbre、Time、Movement ですが、ネームフィールドをダ ブルクリックして別の名前に変更できます。各マクロノブの名称は、ロワーツールバー [p.57]のマクロノ ブにも反映されます。 マクロタブにある Learn ボタンをクリックすると、MIDI ラーンとよく似た画面が開き、表示色がパープ ルのパラメーターをマクロにアサインすることができ、アサイン済みのパラメーターは赤くなります。パ ープルのパラメーターをクリックすると、そのパラメーター名がリストに表示されます。

マクロからパラメーターを削除するときは、リストにあるパラメーター名を右クリックし、**Delete**を選 択します。マクロにアサインしたパラメーターの値が変化する範囲は、MIDI アサインのときと同様、 **Min** と **Max** の数値フィールドを上や下にドラッグして設定できます。Min の値を Max の値よりも高く設 定すれば、ノブの操作と反行する変化 (ノブを右へ回すと値が下がる) に設定できます。

♪ マクロには自由に名前をつけたり、名前にとらわれずに自由にパラメーターをアサインすることができます。しかし、DAW などでの制作時には通常、巧妙さよりもわかりやすさのほうが優れていることを覚えておいてください。

6.3.3.3. マクロのカーブ

単純なスケーリング以上に、マクロノブを操作したときに、そのマクロにアサインした各パラメーターの 最低値から最高値までの変化カーブを個別に設定できます。リストのパラメーター名の左にある > アイコ ンをクリックするとカーブの設定画面が開きます。



マクロノブの向きは縦線で表示されます

マクロカーブの作成方法はベロシティカーブ・エディター [p.20]とよく似ています。ここでは、横軸がマクロノブの向き、縦軸がそのパラメーターの値をそれぞれあらわします。マクロノブにアサインしたパラメーターごとにカーブを設定できます。

カーブをクリックするとブレイクポイントが追加され、小さな円で表示されます。ブレイクポイントはド ラッグして移動でき、それに合わせてとなりのポイントとの間のカーブが変化します。ブレイクポイント を右クリック、または Ctrl-クリックすると、そのブレイクポイントが削除されます。最初(左端)と最後 (右端) のブレイクポイントは削除できません。なお、ベロシティカーブ・エディターとは異なり、2つの ブレイクポイント間にはカーブを調整するグラブハンドルはありません。

6.3.4. Tutorials



このチュートリアルタブは、メインメニュー [p.50] の **Tutorials** を選択することでも開くことができま す。このタブでは各チャプターのタイトルをクリックすると CP-70 V の色々な機能を順を追って学ぶこと ができます。また、チュートリアルの進行に沿ってテーマにしているパネル部分がハイライト表示になり ます。

!プリセットをエディット中のときは、チュートリアルを開く前にセーブしておきましょう。これはチュートリアルを開くと新規プリセットをロードしてエディット中の内容を上書きしてしまうためです。また、チュートリアルはサイドパネルのスペースに開きます。

(i) Warning

Launching tutorial will override your current preset. Make sure you have saved your modifications before continuing.

チュートリアルを開くときに表示される警告ポップアップ

Cancel

Ok

7. THE PRESET BROWSER

プリセットブラウザは、CP-70 V でプリセットをサーチしたり、ロードしたり、管理したりするための機能です。プリセットブラウザの表示には数種類ありますが、どの表示方法でもすべて同じプリセットとそのサブグループを参照しています。

プリセットブラウザを開くには、ブラウザボタン (本棚の本のようなアイコン (|||\)) をクリックします。 閉じるには、ブラウザボタンと同じ場所に表示される X をクリックします。

≡					Definitive CP	AV			
۰	Explore 2	0	a O accut accu					3 Definitive	p 🚦
8	Sound Banks	Explor	Search Prese				Clear All		
MY	FAVORITES	Types	Styles	Banks		•	33 presets		
\heartsuit	Liked	🗢 NAI	ME-			DESIGNER			
0	Red	CP E	Delay Jam					Versatile sound that perfe classic instrument. Try tu	ctly represents this ming on the
0	Orange	CPM	/lemory					rotating speaker for a coo with the tape distortion to	I variation, and play add even more
0	Yellow	Defa						-bite". Movement control	r tremolo.
0	Green	Defi		Classic EP					
0	Purple		ged CP						
0	Gray	Font	ty C Fonky P						
MY	PLAYLISTS	Hall	of Ever						
+	Add Playlist								
Gal	briel Tribute		neto Jazz CP						
'80	s Cover Band								Movement

プリセットブラウザは、次の4つのメインエリアに分かれています:

#	エリア	内容
1.	サーチ&リザルト [p.68]	入力したテキストや、タイプ、スタイルなどのタグでプリセットをサーチします。
2.	サイドバー [p.72]	バンク、フェイバリット、プレイリストの管理を行います。
3.	プリセットインフォ [p.74]	選択したプリセットのバンクやタグ、作成者などの詳細情報を表示します。
4.	マクロノブ [p.78]	ロワーツールバーとマクロタブにあるマクロノブの拡大版ミラーリングです。
7.1. Search and Results - サーチ&リザルト

画面最上部のフィールドをクリックし、検索ワードを入力します。すると、次の2つの方法でプリセット を絞り込みます。1つは、検索ワードがプリセット名と一致しているもの、もう1つは検索ワードがタイプ かスタイル [p.68]に近いものをサーチ結果に表示します。

サーチ結果は、検索ワードのフィールドの下にリスト表示されます。検索ワードの右にある X アイコンを クリックすると、検索ワードが消去されます。

Explo	ore 🔍 P	iano			Clear All
Types) (Filter By Type Electric Piano			6 presets
•	NAME+		ТҮРЕ =		X,
V	/isionary		Classic EP	Joshua Fielstra	
F	Halls of Eyes		Classic EP	Joshua Fielstra	
L	₋ofi Piano		Creative EP	Quentin Feuillard	
F	Fonky C Fonky P		Creative EP	Jerry Kovarsky	
S	Soft Piano		Creative EP		
v	Wholesome		Classic EP	Joshua Fielstra	

7.2. Using Tags as a Filter - タグで絞り込む

色々なタグを使用して絞り込みサーチができます (場合によってはサーチ結果を広げることもあります)。 タグには タイプ と スタイル があります。どちらかのタグでも、両方のタグを使用してもサーチできま す。Arturia MIDI コントローラーキーボードの豊富なラインナップでは、MIDI キーボードからプリセット を直接ブラウズすることもできます。

7.2.1. Types

タイプには楽器のカテゴリーが含まれます。CP-70 V でメインとなるタイプは Electric Piano で、これに は Classic EP と Creative EP というサブタイプが含まれており、後者はクラシックなエレクトリックグラ ンドのサウンドにとらわれない、サウンドデザイン志向のプリセットです。他にはオリジナル音色を作る ときに便利な Template (テンプレート) タイプがあります。サーチバーに何も入力していない状態で **Types** ボタンをクリックすると、下図のようなリストが表示されます。タイプにはサブタイプが含まれ ていることがあります。



これらの中から1つをクリックすると、そのタグに一致したプリセットのみがサーチ結果に表示されま す。CMD-クリック (macOS) または Ctrl-クリック (Windows) で複数のタグを選択することもできます。 例えば、探したいプリセットのサブタイプが「Classic EP」なのか「Creative EP」なのかがわからない場 合は、両方を選択してサーチ範囲を広げることができます。 リザルトコラム (サーチ結果表示) のリストは、各タイトル (Name、Type、Designer) の右にある矢印を クリックして昇順や降順に並べ替えることができます。

7.2.2. Styles

スタイルは、音楽的な属性でサーチを絞り込むタグです。**Styles** ボタンをクリックしてアクセスできるこのエリアには、次の3つのサブディビジョンがあります:

- Genres: 80s、Trance、Synthwave、Disco などの音楽ジャンルです。
- *Styles*: Atmospheric、Dirty、Clean、Classic、Mellow など、音色の一般的な雰囲気を表します。
- Characteristics: Acoustic、Evolving、Distorted、Dry など、より詳細な音色の特徴を表します。



タグをクリックするとそれが選択されます。同じタグをもう一度クリック(または右クリック)するとタグ の選択が解除されます。タグを1つ選択すると、選択できなくなるタグがいつくか発生します。これは、 ブラウザが消去法でサーチ範囲を絞り込んでいるためです。タグの選択を解除するとその基準が削除さ れ、最初からやり直すことなく、サーチ範囲が広がります。

7.2.3. Banks

Types と Styles の隣りにあるボタンは Banks で、(上記のすべての方法を使った) サーチ対象をファクト リーかユーザーバンクのいずれかに限定することができます。

7.3. サーチ結果表示エリア

サーチ結果のリストが表示されていない場合は、Show Results ボタンをクリックします。並べ替えの矢 印をクリックすると、そのコラムのアルファベット順が逆になります。また、Show Results の右にある 「ハンバーガー」(横3本線) アイコンをクリックすることもできます。すると4つの四角のアイコンに変わ り、ジャンル、スタイル、キャラクターの各タグのグリープ分けの下に、選択したタグに合致するプリセ ットが下図のように表示されます:

Explore Q 80s	\times Classic \times Tribute \times Search Presets		Clear All
Types	es Banks	User 🔍	4 presets
GENRES	STYLES	CHARACTERISTICS	
70s 80s Jazz/Blues N	lodern Classic Clean Harsh Huge	Acoustic Dry Gated I	Natural
Pop Rock Soul/R&B	Punchy Simple Warm	Processed Tribute	
♡ NAME-	TYPE	\equiv designer	
Halls of Eyes	Classic EP	Joshua Fielstra	
Hold A Line	Classic EP	Jerry Kovarsky	
♥ That's it	Classic EP	Joshua Fielstra	
Thriving	Classic EP	Joshua Fielstra	

スタイルタグの下に表示されたサーチ結果

7.3.1. リストの並べ替え

Explore	Q Search Presets			
Турез	Styles	Banks	User 🗨	33 presets
♥ NAME▲	۲	ТҮРЕ		ス

サーチ結果リストの左側のコラムの NAME ヘッダをクリックすると、リストがプリセット名の ABC 順か その逆順に並びます。

2つ目のコラムの **TYPE** ヘッダをクリックすると、タイプの ABC 順かその逆順でリストが並び替わります。

TYPE の左にある Arturia ロゴ をクリックすると、おすすめのファクトリープリセットがリストのトップ に表示されます。おすすめプリセットは、いいねをつけた [p.71]プリセットのすぐ下に表示されます。

User の横スイッチをクリックすると、サーチ対象をユーザーバンクに限定することができます。

3つ目のコラムのヘッダには **DESIGNER** と **BANK** の2種類があります。横3本線のアイコンをクリックしてそのどちらかに選択できます。その選択後に、コラムのヘッダをクリックすると、ABC 順かその逆順でリストが並び替わります。



7.3.2. タグを外す

Types、Styles、Banks の各ボタンのすぐ上のサーチバー内には、そのときに選択しているタグ名が表示 されます。各タグ名の右にある X をクリックすると、そのタグが削除されます (その分検索結果が多くヒ ットします)。**Clear All** をクリックすると、選択していたタグをすべて削除します。

Explore	Q 80s \times Classic >	< Tribute X Search Preset	ts	Clear All
Types	Styles	Banks	User 🔍	Show results (4)

7.3.3. Liking Presets - プリセットに「いいね」をつける

プリセットを色々チェックしたり作成しているときに、プリセット名にマウスオーバーすると左側に表示 される **ハート** をクリックすることで、そのプリセットをお気に入りとしてマークすることができます。 その後、上部のハートアイコンをクリックすると、マークしたお気に入りのすべてがサーチ結果リストの トップに表示されます。

Ехр		ssic X Search Presets		Clear All
Туре	s Styles	Banks	User •	16 presets
•	NAME	🛞 ТҮРЕ		73,
•	That's It	Classic EP	Joshua Fielstra	
•	Concert CP	Classic EP	Jonathan Leonard	
•	Thriving	Classic EP	Joshua Fielstra	
•	Power CP	Classic EP	Jerry Kovarsky	
•	Nu Orleans CP	Classic EP	Jerry Kovarsky	
	Nectarous	Classic EP	Joshua Fielstra	



「矢印が交差している」ボタンをクリックすると、プリセットの並び順がランダムになります。これは、 サーチ結果のリストが長く、スクロールに時間がかかる場合に、気に入ったものを見つけるのに便利で す。並び順がランダムになりますので、キラープリセットがトップに来る可能性もあります。このシャッ フルボタンはトグル式ですので、もう一度クリックするとサーチ結果が以前の並び順(名前順、タイプ順 など)に戻ります。

必要に応じて並べ替えやフィルタリング機能を使用することで、いつでも欲しい音色を正確に見つけるこ とができます。

7.4. Sidebar - サイドバー

プリセットブラウザの左端にあるセクションでは、サーチ&リザルト [p.68]セクションに何を表示するかを設定します。

その先頭にあるオプションが Explore です:

•	Explore	Explore	C Search Pres	ets				
-	Sound Banks							
MY		Types	Styles		Banks	User	•	33 presets
\heartsuit	Liked	🕈 NAM	IE -		ТҮРЕ		DESIGNER	
0	Red		leans CP					
0	Orange	🎔 Thriv	ng					
0	Yellow	Ambi	ant Ebow					
0	Green	Soft F	Piano					
0	Purple							
0	Gray	🎔 Defin	tive CP					
MY +	Add Playlist	Psych	nedelic CP					
Gat	oriel Tribute		Was It					
'80	s Cover Band							

Explore がデフォルトで表示されるセクションで、上述のように、CP-70 V にロードされている現在選択 しているバンク内のプリセットをサーチすることができます。

7.4.1. Sound Banks

Sound Banks をクリックすると、使用可能なサウンドバンクがすべて表示されます。ファクトリーバン クに次いでユーザーバンクが表示され、ユーザーバンクのプリセットは削除やリネームのほか、右クリッ クでエクスポート (ファイル書き出し) も行えます。

また、ユーザーバンクのサムネイル画像 (PNG 形式) をインポートしてよりパーソナルなものにすること もできます。



7.4.2. My Favorites

サイドバーの中段にあるのは **My Favorites** です。ここでは、プリセットんおグループを色分けして見つ けやすくすることができます。また、**Liked** のグループもありますので、ハートアイコンでお気に入りと してマークしたプリセットもすぐに見つけられます。

表示する色を設定するには、My Favorites にマウスオーバーし、Edit をクリックします。トグルスイッチで各カラーの表示/非表示を設定し、Done をクリックすれば完了です。

色の名前も自由にリネームできます。サイドバー内の色の名前を右クリックし、新たな名前を入力するだ けでリネームできます。

\bigcirc	Liked	۲	NAME-	۲	ТҮРЕ	Ξ	DESIGNER	×\$
0	Red		Hold A Line					
0	Orange	•	Long Way Road					
	Scroop		Nu Orleans CP		Classic EP		Jerry Kovarsky	
0	Purple		Sunrise					
0	Gray		Ambient Ebow					

プリセットをカラーグループに入れるには、プリセットをそのカラーにドラッグ&ドロップするか、プリ セット名を右クリックしてカラーを選択します。サイドバーのカラーをクリックすると、そのカラーにグ ルーピングされたプリセットが表示されます。

7.4.3. My Playlists



サイドバーの下部には、作成したりインポートしたりしたプレイリストが表示されます。プレイリスト は、ライブ演奏時などに非常に便利で強力なプリセット管理ツールです。詳しくは、後述のプレイリス トセクション [p.79]でご紹介します。

!プレイリストが1つもない場合は、このエリアにはなにも表示されません。プレイリスト [p.79]の作成方法は、このチャプターの終わりのほうでご紹介します。

7.5. Preset Info Section - プリセット情報

プリセットブラウザの画面右側には、各プリセットの情報を表示するエリアがあります。



ファクトリープリセット以外のユーザープリセットでは、このエリアをクリックして情報を入力できま す。右下にある「More info」をクリックすると表示エリアが下へ拡張します:

Less info	^
TYPE Classic EP	~
BANK User	\sim
DESIGNER Jerry Kovarsky	
Acoustic Leslie Natural Dub/Reggae	
Funk Jazz/Blues Latin Pop	
Reggaeton Rock Soul/R&B World	
Classic Clean Punchy Simple +	

ここでは、各プルダウンメニューからタイプやバンクを変更したり、作成者名を入力したり、+ アイコ ンをクリックして Styles、Genres、Characteristics タグの追加や削除が行えます。このアイコンをクリ ックすると、サーチ結果表示エリアにスタイルやジャンル、キャラクターの選択や選択解除が行えるエデ ィットリストが表示されます:

EDIT STYLE	\times
STYLES	
Acid Airy Atmospheric Bizarre Bright Classic Clean Complex Dark Deep Dirty Funky Hard Harsh Huge	
Mellow Melodic Punchy Sad Sharp Simple Soft Soundscape Thin Warm +	
GENRES	
60s 70s 80s 90s Ambient Bass Music Berlin Breakbeat Chiptune Cinematic Classical Detroit Disco	
Downtempo Drum & Bass Dub/Reggae Dubstep Electro Experimental Footwork Funk Fusion Future Bass	
Game Audio Grime Hard Techno Heavy Metal Hip Hop/Trap House IDM Indie Dance Industrial Jazz/Blues Jungle	
Latin Lofi Minimal Modern Pop Psytrance Reggaeton Rock Soul/R&B Soundtrack Synthwave Techno Trance	
Trip Hop Tropical House UK Garage World +	
CHARACTERISTICS	
Ad Libs + Acoustic Additive Amp Analog Arpeggiated Chord Delay Digital Distorted Dry Ensemble	
Evolving Filtered FM Gated Glide Glitch Granular Hoover Hybrid Layered Leslie Long Multi/Split Natural	
Noise Phrases Processed Random Reese Reverb Reversed Rise Sample-based Sequence/Loop Short	
Slow Attack Solo Stab Synced Synth Transient Tribute Vibrato Wah +	

各グループのタグの最後には + アイコンがあります。これをクリックするとオリジナルのスタイル、ジャンル、キャラクターのタグを作成できます。エディットが終わりましたら、右上の X をクリックします。

ここで行ったタイプやスタイルの変更は、サーチにも反映されます。例えば「Acoustic」というスタイル のタグを削除してからプリセットを保存すると、今後「Acoustic」タグでサーチしてもそのプリセットは 表示されません。繰り返しになりますが、こうしたエディットはすべてユーザープリセットでのみ可能で す (ファクトリープリセットの情報は変更できません)。

プリセット情報エリアの最上部にあるドットが3つ縦に並んだアイコンをクリックすると、そのプリセットの管理メニューが開きます。



管理メニューには、Save、Save As、Delete Preset、Add to Playlist があり、新しくプレイリスト [p.79] を作成するオプションもあります。ファクトリープリセットを上書きしたり削除したりすることはできま せんので、保存と削除のオプション (Save、Save As、Delete Preset) はユーザープリセットでのみ表示さ れます。

色付きのドットアイコンは、My Favorites [p.73] でご紹介しました通り、プリセットを色分けされたグル ープに追加することができます。

7.5.1. 複数プリセットの情報を編集する

ライブ演奏の準備などで複数のプリセットを別のバンクへ一斉に移動させたり、複数のプリセットに同 ーのコメントを一斉に入力したいときがあるかと思いますが、簡単にできます。サーチ結果リストのプ リセット名を macOS なら CMD-クリック、Windows でしたら Ctrl-クリックで複数選択します。次にコ メントを入力したり、バンクやタイプなどを変更して各プリセットを保存します。

Explore	Q Search Prese	ets				
Турез	Styles		Banks	User	•	33 presets
• NAME		A	ТҮРЕ		DESIGNER	×
Nu Orlea	ins CP		Classic EP		Jerry Kovarsky	
 Thriving 			Classic EP		Joshua Fielstra	
Ambient	Ebow		Creative EP		Quentin Feuillard	l
Soft Pia	סר		Creative EP		Arturia	
Fonky C	Fonky P		Creative EP		Jerry Kovarsky	
 Definitiv 	e CP	\bigotimes	Classic EP		Jerry Kovarsky	
Psycheo	lelic CP		Creative EP		Jerry Kovarsky	

♪ ファクトリーブリセットの情報を変更したいときは、最初にそのプリセットを Save As コマンドでユーザープリ セットとして保存する必要があります。

7.6. プリセットの選択:別の方法

アッパーツールバーのセンターにあるプリセット名をクリックすると、ドロップダウンメニューが開きま す。このメニューの左コラムのトップにあるのは *All* で、これを選択するとサブメニューが右側に開き、 現在選択しているバンク内のすべてのプリセットを ABC 順に表示します。



All 以下にはタイプの各カテゴリーが並びます。タイプを選択すると右側にサブメニューが開き、そのタ イプに属しているすべてのプリセットが表示されます。

タイプやスタイルでサーチをしている場合、プリセット名の右に上下の矢印が表示されます。これをクリックすると、サーチにヒットしたプリセットのみを順番に切り替えることができます。

ただし、ドロップダウンメニューにある All は、こうしたサーチ条件を常に無視します。また、All 以下の 各タイプもサーチ条件と関係なく、そのタイプに属しているすべてのプリセットを常に表示します。

7.7. Macro Knobs - マクロノブ

プリセットブラウザの右下に表示される4つのマクロノブは、ロワーツールバーやマクロタブにあるもの を拡大してミラーリングしたものです。ここに表示されているマクロノブを操作すると、その操作がサイ ドパネルとロワーツールバーのマクロノブにも反映されます。



マクロのパラメーターへのアサイン方法や、マクロノブのリネーム方法につきましては、チャプター6の マクロタブ [p.64]をご覧ください。

7.8. Playlists - プレイリスト

MY PLAYLISTS
+ Add Playlist
'80s Cover Band
Gabriel Tribute

プレイリストは、ライブ演奏のためのセットリストや、レコーディングで使用するプリセットなど、さま ざまな目的のためにプリセットをグルーピングできる強力な機能です。プレイリスト内では、プリセット をさらにソングにグループ分けすることができ、セットリストへの追加に便利です。

サイドバーの最下部にある **My Favorites** の下に、*My Playlists* という小見出しが表示されます。CP-70 V を使い始めたばかりの状態ではプレイリストはまだありませんが、非常に簡単に作成できます!

7.8.1. プレイリストを初めて作成する

まず、Add Playlist をクリックします。すると、下図のようなポップアップが開き、これから作成するプ レイリストに名前をつけます。



名前の入力が完了すると、その名前のプレイリストがサイドバーの My Playlists セクションに表示され ます。この方法で、プレイリストを好きなだけ作成することができます。

プレイリスト名を右クリックするとポップアップが開き、Rename (リネーム)、Duplicate (複製)、Delete (削除)、Export (プレイリストをファイルとしてコンピュータに保存)といった操作が行えます。エクスポ ートしたプレイリストのファイルには、.aplstの拡張子が付きます。

Rename
Duplicate
Delete
Export

Explore セクションの各種機能を使用して、プレイリストに入れたいプリセットをサーチできます。目的 のプリセットが見つかりましたら、それをプレイリスト名にドラッグします。

O Yellow	Pwrcords	Creative EP	Jerry Kovarsky
○ Green	Ambient Ebow	Creative EP	Quentin Feuillard
O Purple	Hold A Line		
⊖ Gray	Classic CP		
+ Add Plavlist	P Definitive CP 🛞		
Gabriel Tribute	Lofi Piano		
'80s Cover Band			

プリセットをプレイリストにドラッグ

プレイリストの内容を見るときは、そのプレイリスト名をクリックします。

7.8.3. プリセットを並び替える

プレイリスト内のプリセットは並べ替えができます。例えば、スロット3から4にプリセットを移動させたいときは、それを目的の位置にドラッグ&ドロップします。

((•)) ⁽ 80 2 Sor ⊕ N	Os Cover Band Igs - Last updated on 25/11/2023 - 14:21 ew Song :
Ne M'Oublie Pa	s
1 Definitive CP	Electric Piano
2 Amped CP	Electric Piano
3 Halls of Eyes	Electric Piano
4 Tight Ambience	Electric Piano
Pluie Rouge	
1 Fonky C Fonky P	2 Amped CP Electric Piano Electric Piano
2 Radio Star	Electric Piano

プリセットを移動するとその移動に合わせて他のプリセットの位置もプレイリスト内で移動します。ドラ ッグ&ドロップで移動するときには、明るいオレンジの線が移動先の「挿入ポイント」に短時間表示さ れます。

7.8.4. プリセットをプレイリストから削除する

プレイリストからプリセットを削除するには、まずプレイリストを選択します。次に削除したいプリセットの名前を右クリックしてポップアップメニューを開き、*Delete*を選択します。ここでの削除は、あくまで **プレイリストからの** 削除で、そのプリセットが CP-70 V から削除されるわけではありません。

Ne M'Oublie Pas				
1 Definitive CP	Electric Piano			
2 Halls of Eyes	Electric Piano			
3 Tight Ambience	Rename	Electric Piano		
Pluie Rouge	Copy Paste			
1 Fonky C Fonky P	Delete Duplicate	Electric Piano		
2 Amped CP		Electric Piano		
3 Radio Star		Electric Piano		

このメニューには、Rename、Copy、Paste、Duplicate の各オプションもあります。これらにつきましては後述します。

7.8.5. ソングとプレイリストの管理



どのプレイリストも、ライブ演奏のセットリスト管理に最適なツールである Songs に分割することがで きます。New Song ボタンでプレイリスト内にソングを新規作成します。ソング名を右クリックすると名 前を変更できます。ソングをドラッグしてプレイリスト内で並べ替えることができ、ソングにプリセット を追加することができます。プレイリスト内に複数のソングを作成でき、ソング名でドラッグすると、そ のソングを含むすべてのプレイリストが順番に表示されます。

プレイリストの管理オプションにアクセスするには、New Song ボタンの右にあるドットが縦に3つ並ん だアイコンをクリックします。すると下図のようなプルダウンメニューが開きます:

Rename Playlist		
Save Playlist As		
Export Playlist		
Delete Playlist		

- Rename Playlist:現在選択しているプレイリスト名を変更します (このとき、コピーは作成しません)。
- Save Playlist As:選択しているプレイリストを別名で保存します。保存前に名前を入力できます。
- Export Playlist: プレイリストをファイルとしてコンピュータに書き出します。ファイル名 には .aplst の拡張子が付きます。
- Delete Playlist:選択しているプレイリストを削除します。そのプレイリスト内にあったプリセット自体は CP-70 V から削除されません。

これでプリセットブラウザは以上です! ファクトリープリセットのチェックや、オリジナルプリセット の作成を存分にお楽しみください。

8. ソフトウェア・ライセンス契約

ライセンシー料 (お客様が支払ったアートリア製品代金の一部) により、アートリア社はライセンサーとし てお客様 (以下「ライセンシー」) に 本ソフトウェア (以下「ソフトウェア」) のコピーを使用する非独占 的な権利を付与いたします。

ソフトウェアのすべての知的所有権は、アートリア社(以下「アートリア」)に帰属します。アートリア は、本契約に示す契約の条件に従ってソフトウェアをコピー、ダウンロード、インストールをし、使用す ることを許諾します。

本製品は不正コピーからの保護を目的としプロダクト・アクティベーションを含みます。OEM ソフトウェアの使用はレジストレーション完了後にのみ可能となります。

インターネット接続は、アクティベーション・プロセスの間に必要となります。ソフトウェアのエンドユ ーザーによる使用の契約条件は下記の通りとなります。ソフトウェアをコンピューター上にインストール することによってこれらの条件に同意したものとみなします。慎重に以下の各条項をお読みください。こ れらの条件を承認できない場合にはソフトウェアのインストールを行わないでください。この場合、本製 品(すべての書類、ハードウェアを含む破損していないパッケージ)を、購入日から30日以内にご購入いた だいた販売店へ返品して払い戻しを受けてください。

1. ソフトウェアの所有権 ライセンシーは、ソフトウェアが記録またはインストールされた媒体の所有権 を有します。アートリアはディスクに記録されたソフトウェアならびに複製に伴って存在するいかなるメ ディア及び形式で記録されるソフトウェアのすべての所有権を有します。この許諾契約ではオリジナルの ソフトウェアそのものを販売するものではありません。

2. 譲渡の制限 ライセンシーは、ソフトウェアを譲渡、レンタル、リース、転売、サブライセンス、貸与などの行為を、アートリアへの書面による許諾無しに行うことは出来ません。また、譲渡等によってソフトウェアを取得した場合も、この契約の条件と権限に従うことになります。本ソフトウェアをネットワーク上で使用することは、同時期に複数のプログラムが使用される可能性がある場合、違法となります。ライセンシーは、本ソフトウェアのバックアップコピーを作成する権利がありますが、保存目的以外に使用することはできません。本契約で指定され、制限された権限以外のソフトウェアの使用に防かる権利や興味を持たないものとします。アートリアは、ソフトウェアの使用に関して全ての権利を与えていないものとします。

3. ソフトウェアのアクティベーション アートリアは、ソフトウェアの違法コピーからソフトウェアを保 護するためのライセンス・コントロールとして OEM ソフトウェアによる強制アクティベーションと強制 レジストレーションを使用する場合があります。本契約の条項、条件に同意しない限りソフトウェアは動 作しません。このような場合には、ソフトウェアを含む製品は、正当な理由があれば、購入後30日以内 であれば返金される場合があります。本条項11に関連する主張は適用されません。

4. 製品登録後のサポート、アップグレード、レジストレーション、アップデート 製品登録後は、以下の サポート・アップグレード、アップデートを受けることができます。新バージョン発表後1年間は、新バ ージョンおよび前バージョンのみサポートを提供します。アートリアは、サポート (ホットライン、ウェ ブでのフォーラムなど) の体制や方法をアップデート、アップグレードのためにいつでも変更し、部分 的、または完全に改正することができます。製品登録は、アクティベーション・プロセス中、または後に インターネットを介していつでも行うことができます。このプロセスにおいて、上記の指定された目的の ために個人データの保管、及び使用(氏名、住所、メール・アドレス、ライセンス・データなど)に同意 するよう求められます。アートリアは、サポートの目的、アップグレードの検証のために特定の代理店、 またはこれらの従事する第三者にこれらのデータを転送する場合があります。

5. 使用の制限 ソフトウェアは通常、数種類のファイルでソフトウェアの全機能が動作する構成になって います。ソフトウェアは単体で使用できる場合もあります。また、複数のファイル等で構成されている場 合、必ずしもそのすべてを使用したりインストールしたりする必要はありません。ライセンシーは、ソフ トウェアおよびその付随物を何らかの方法で改ざんすることはできません。また、その結果として新たな 製品とすることもできません。再配布や転売を目的としてソフトウェアそのものおよびその構成を改ざん するすることはできません。 6. 権利の譲渡と著作権 ライセンシーは、本ソフトウェアを使用するすべての権利を他の人に譲渡することができます。以下の条件を満たすことを条件とします。(a) ライセンシーは、他の人に以下を譲渡します。(i) 本契約および(ii) 本ソフトウェアとともに提供され、同梱され、またはプリインストールされたソフトウェアまたはハードウェア、本ソフトウェアに関するアッププートまたはアップグレードの権利を付与したすべてのコピー、アップグレード、アップデート、バックアップコピーおよび旧バージョンを含む。(b) ライセンシーが本ソフトウェアのアップグレード、アップデート、バックアップコピーおよび旧バージョンを含む。(b) ライセンシーが有効なソフトウェアライセンスを取得した際のその他の規定を受け入れること。ソフトウェアライセンス 本契約の条件に同意されなかったことによる製品の返品。本契約の条件に同意しなかったことによる製品の返却(製品のアクティベーションなど)は、権利譲渡後はできません。 権利を譲渡した場合、製品の返却はできません。また、ソフトウェア及びマニュアル、パッケージなどの付随物には著作権があります。ソフトウェアの改ざん、統合、合併などを含む不正な複製と、付随物の複製は固く禁じます。このような不法複製がもたらす著作権侵害等のすべての責任は、ライセンシーが負うものとします。

7. アップグレードとアップデート ソフトウェアのアップグレード、およびアップデートを行う場合、当 該ソフトウェアの旧バージョンまたは下位バージョンの有効なライセンスを所有している必要がありま す。第三者にこのソフトウェアの前バージョンや下位バージョンを譲渡した場合、ソフトウェアのアップ グレード、アップデートを行う権利を失効するものとします。アップグレードおよび最新版の取得は、ソ フトウェアの新たな権利を授けるものではありません。前バージョンおよび下位バージョンのサポートの 権利は、最新版のインストールを行った時点で失効するものとします。

8. 限定保証 アートリアは通常の使用下において、購入日より30日間、ソフトウェアが記録されたディス クに瑕疵がないことを保証します。購入日については、領収書の日付をもって購入日の証明といたしま す。ソフトウェアのすべての黙示保証についても、購入日より30日間に制限されます。黙示の保証の存続 期間に関する制限が認められない地域においては、上記の制限事項が適用されない場合があります。アー トリアは、すべてのプログラムおよび付随物が述べる内容について、いかなる場合も保証しません。プロ グラムの性能、品質によるすべての危険性はライセンシーのみが負担します。プログラムに瑕疵があると 判明した場合、ライセンシーが、すべてのサービス、修理または修正に要する全費用を負担します。

9. 賠償 アートリアが提供する補償はアートリアの選択により (a) 購入代金の返金 (b) ディスクの交換のい ずれかになります。ライセンシーがこの補償を受けるためには、アートリアにソフトウェア購入時の領収 書をそえて商品を返却するものとします。この補償はソフトウェアの悪用、改ざん、誤用または事故に起 因する場合には無効となります。交換されたソフトウェアの補償期間は、最初のソフトウェアの補償期間 か30日間のどちらか長いほうになります。

10. その他の保証の免責 上記の保証はその他すべての保証に代わるもので、黙示の保証および商品性、特定の目的についての適合性を含み、これに限られません。アートリアまたは販売代理店等の代表者または スタッフによる、口頭もしくは書面による情報または助言の一切は、あらたな保証を行なったり、保証の 範囲を広げるものではありません。

11. 付随する損害賠償の制限 アートリアは、この商品の使用または使用不可に起因する直接的および間接 的な損害(業務の中断、損失、その他の商業的損害なども含む)について、アートリアが当該損害を示唆し ていた場合においても、一切の責任を負いません。地域により、黙示保証期間の限定、間接的または付随 的損害に対する責任の排除について認めていない場合があり、上記の限定保証が適用されない場合があり ます。本限定保証は、ライセンシーに特別な法的権利を付与するものですが、地域によりその他の権利も 行使することができます。